

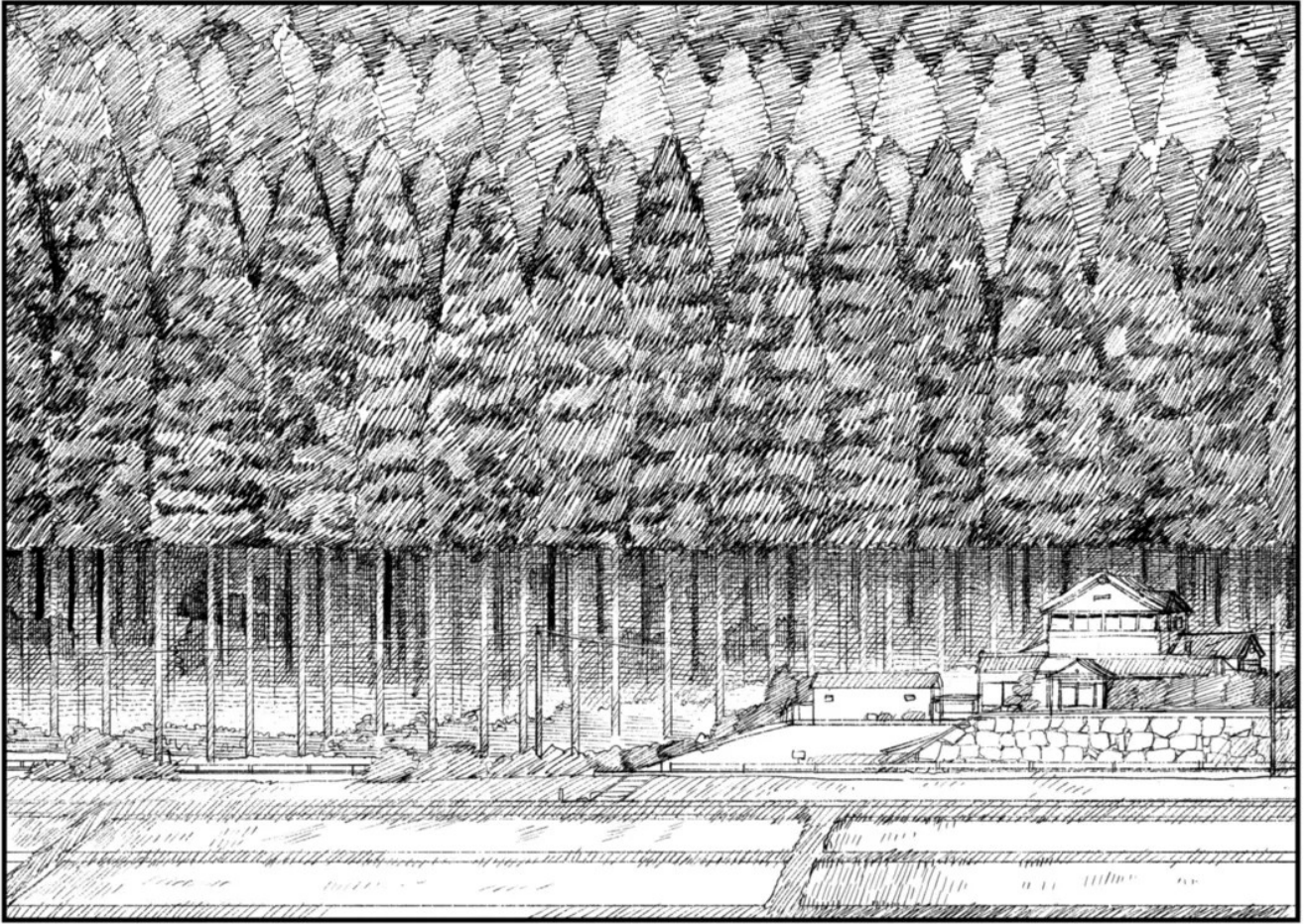


あの夏、
秘密のコンフィチュール

*Secret summer days
with you and Nadeshiko.*

Presented by
シャモナベ

全四章 96P



一章

慧





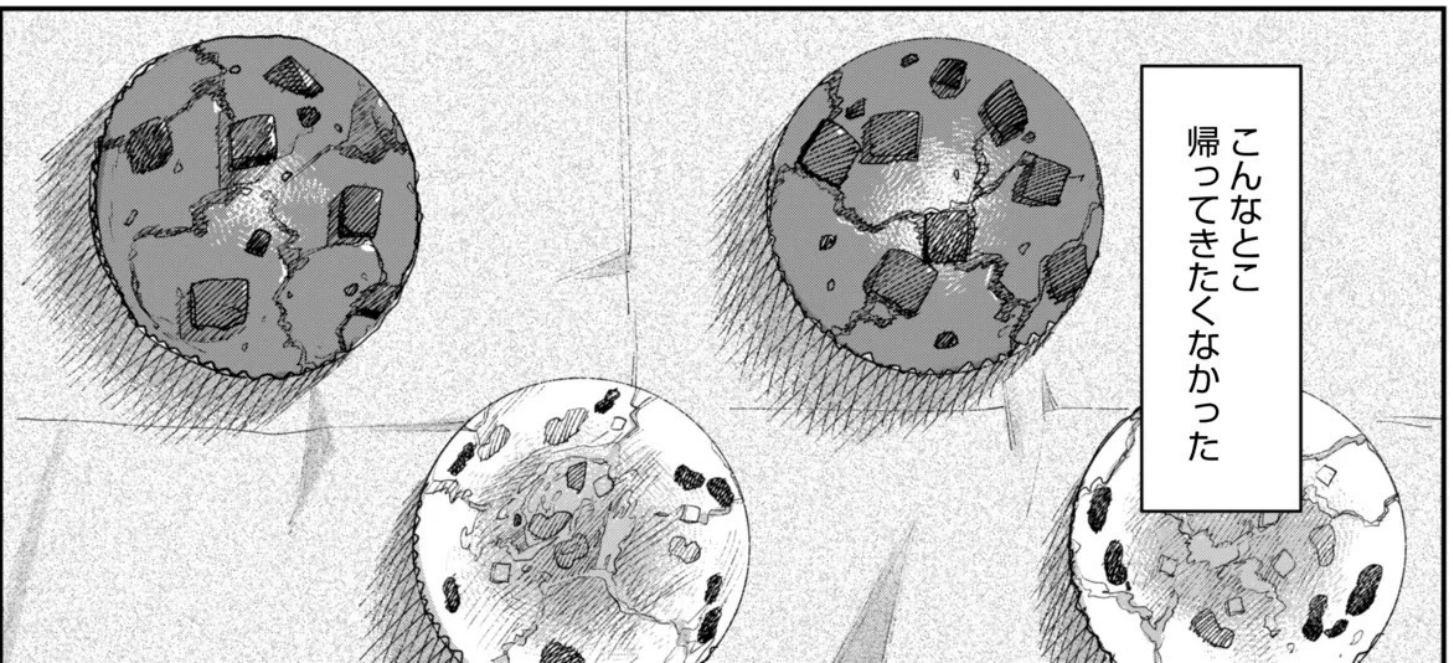
どんだけ急かしても
焼き上がり時間は
変わらない

凛々花^{りりか}
待たせてるんだから
早くしてよ



近所じゃこの家の噂話で
花を咲かせてる頃だろう
プライバシーなんて
あったもんじゃない

田舎は嫌いだ
娯楽はないし
車がないと
何もできない



こんなところ
帰ってきたくなかった

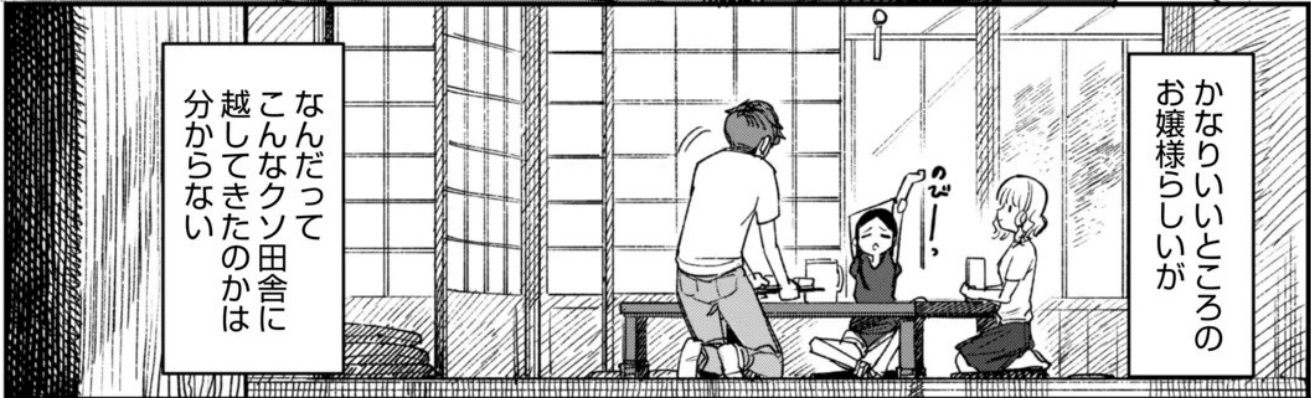


待ちくたびれた〜

はあ〜

凜々花ちゃん
最近東京から
引っ越してきた
翠羽の同級生

お兄さん!
こんにちはわ!



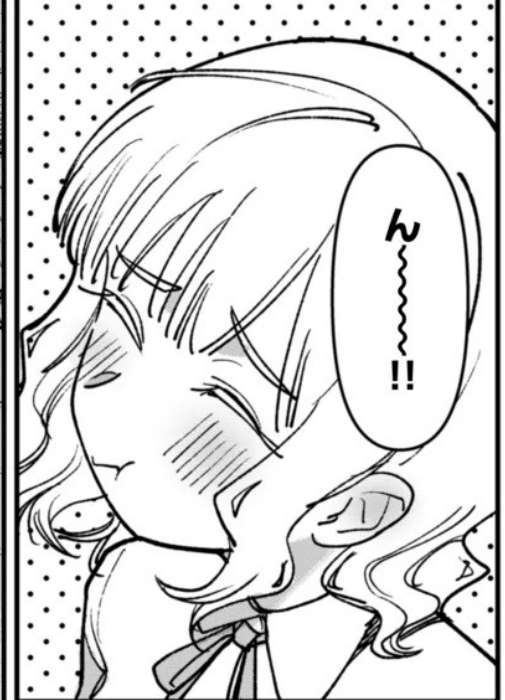
なんだって
こんなクソ田舎に
越してきたのかは
分からない

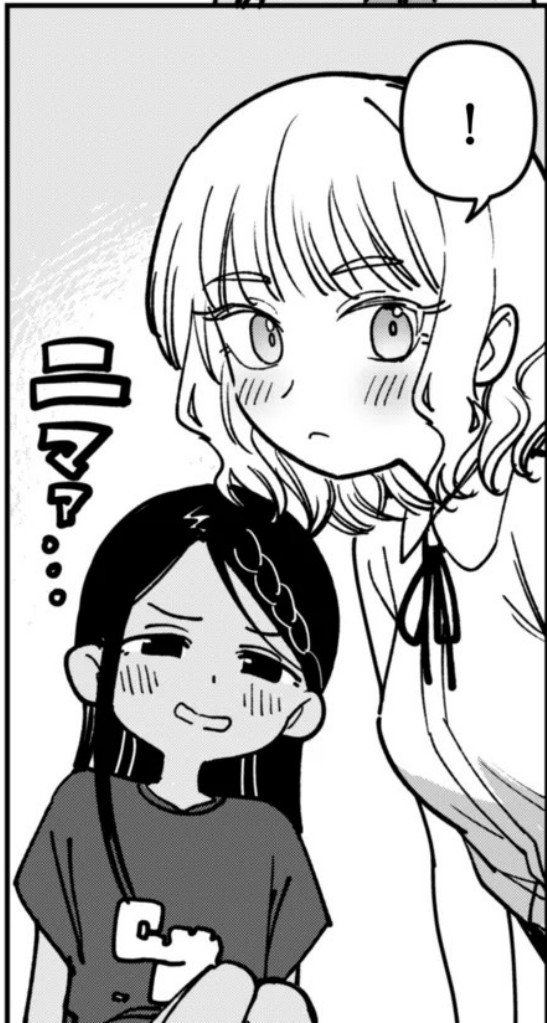
かなりいいところの
お嬢様らしいが

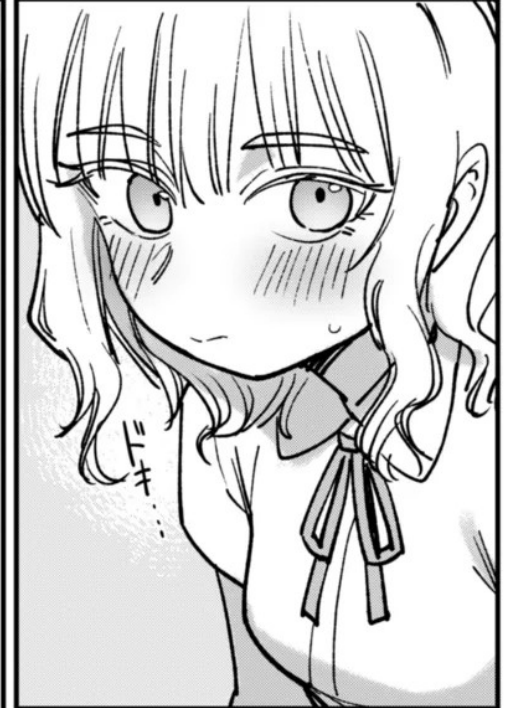
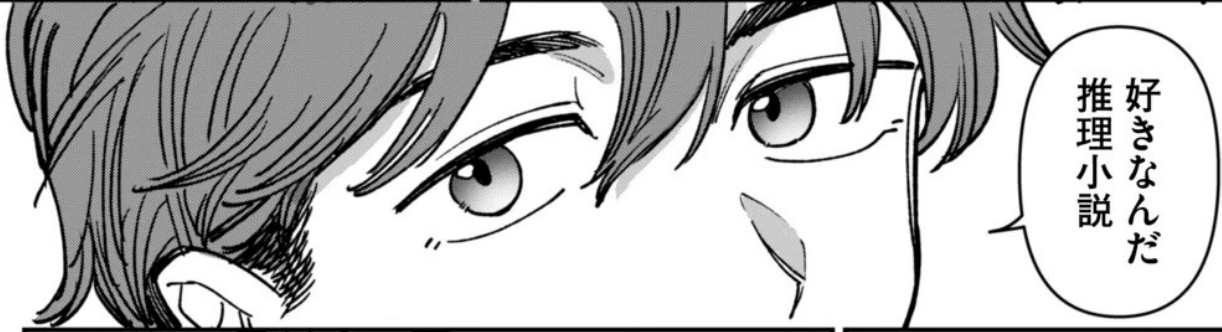
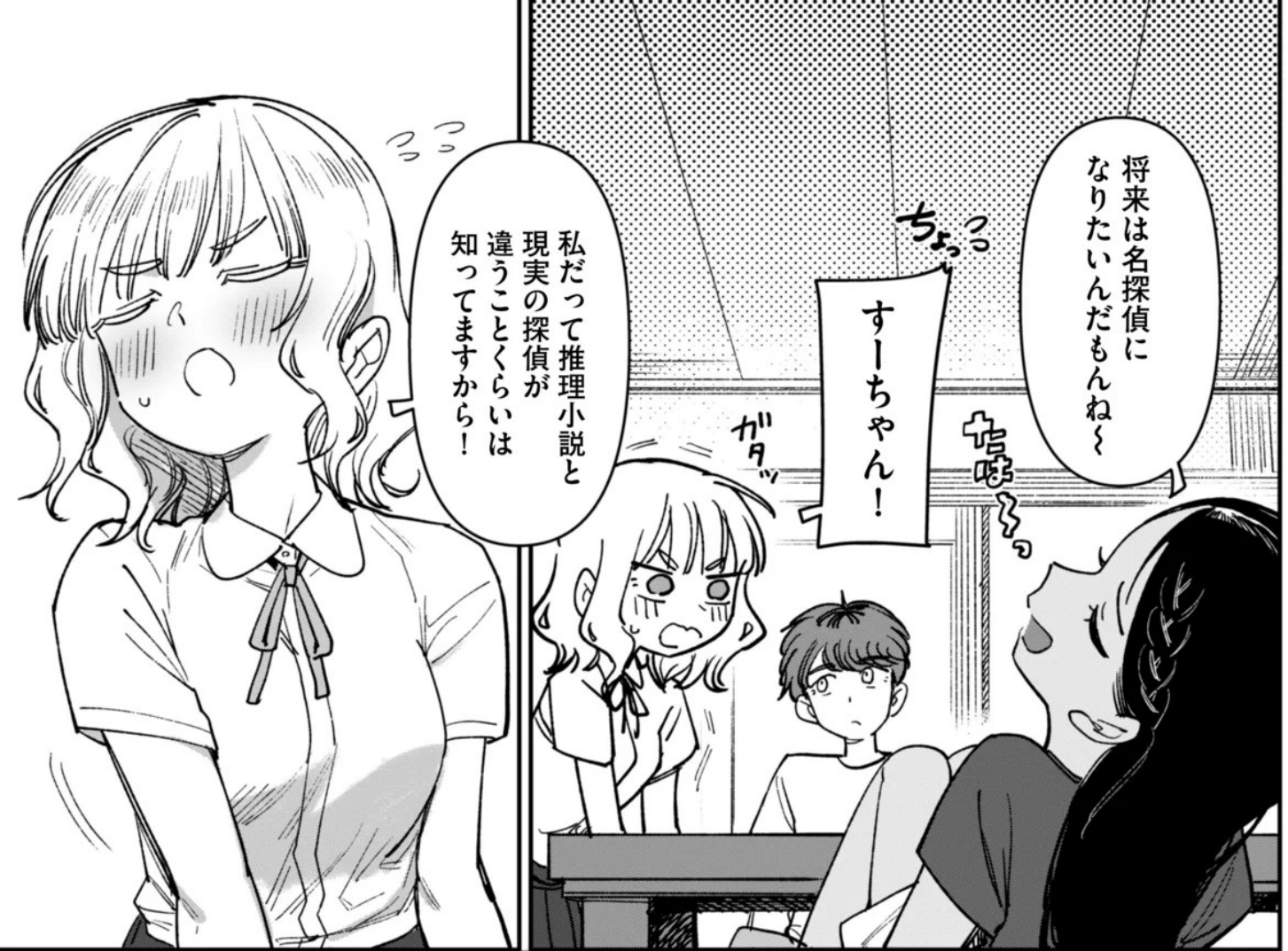


わあ美味しそう!
いただきます!

翠羽と違って
素直でいい子だ





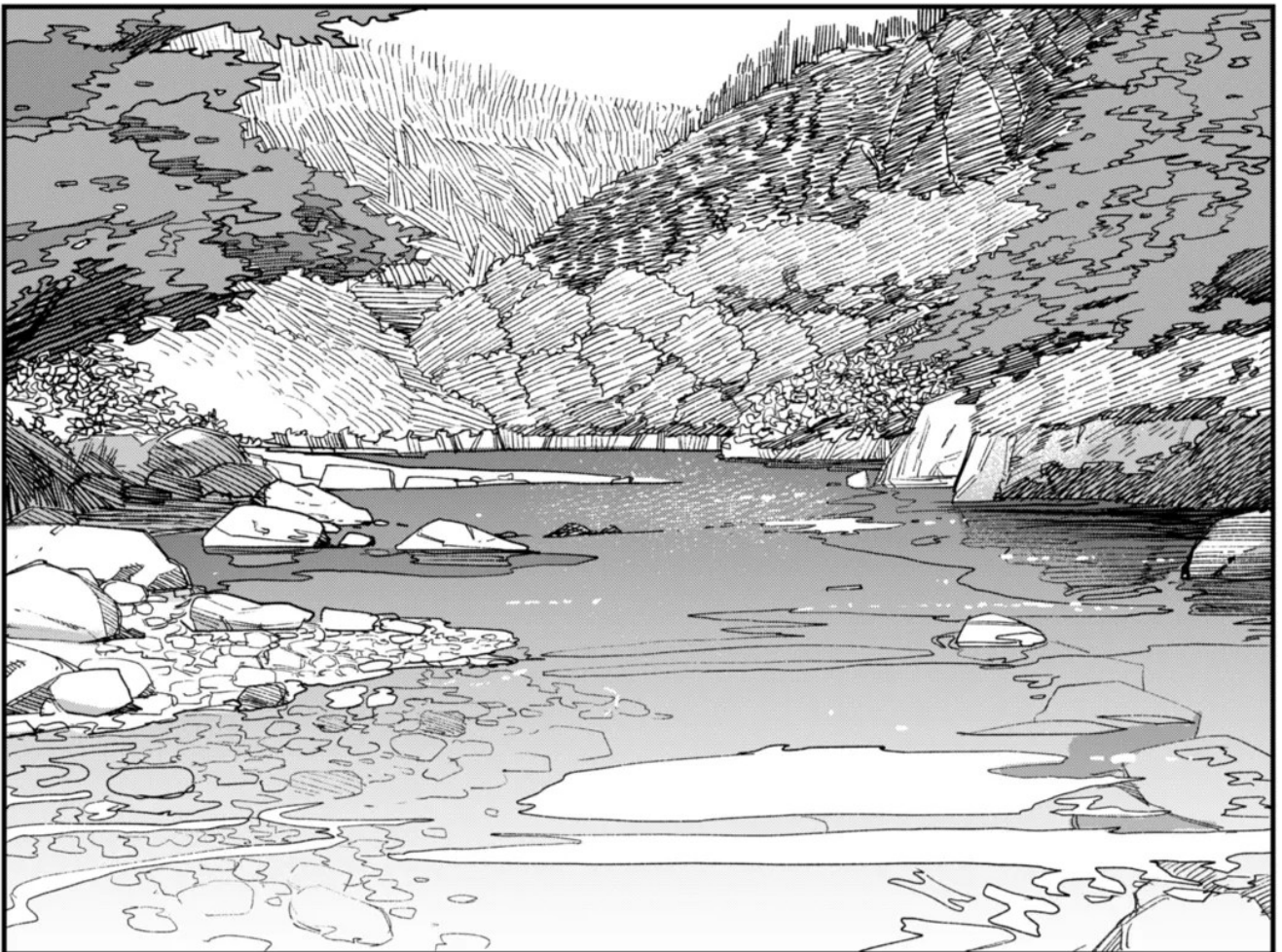


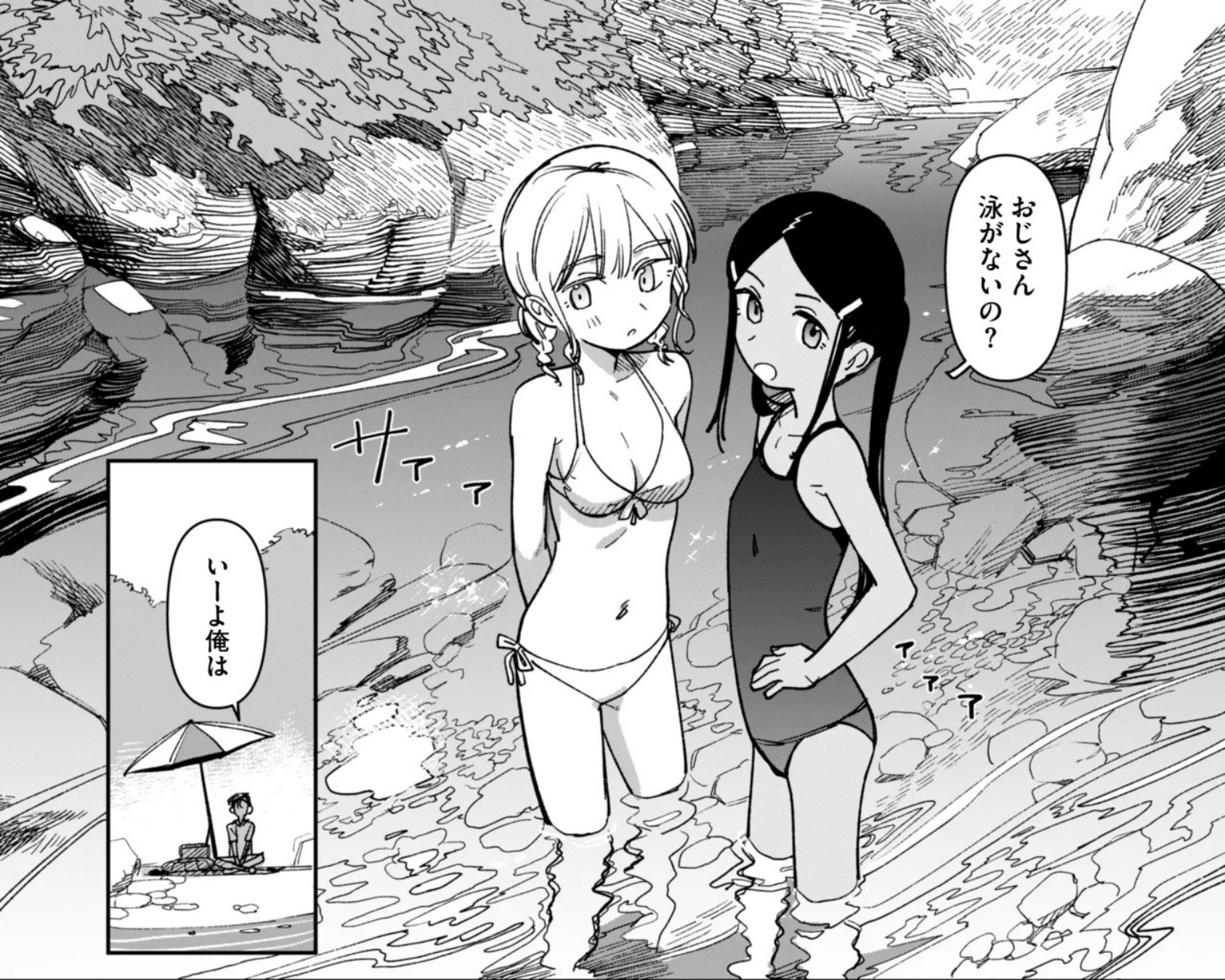


父親が横領で捕まった
会社だけじゃなく
家の金まで使い潰していた

一族揃って悲惨だ
大学なんか行けるわけないし
なにより家のことを姉夫婦にだけ
押し付けるわけにもいかない

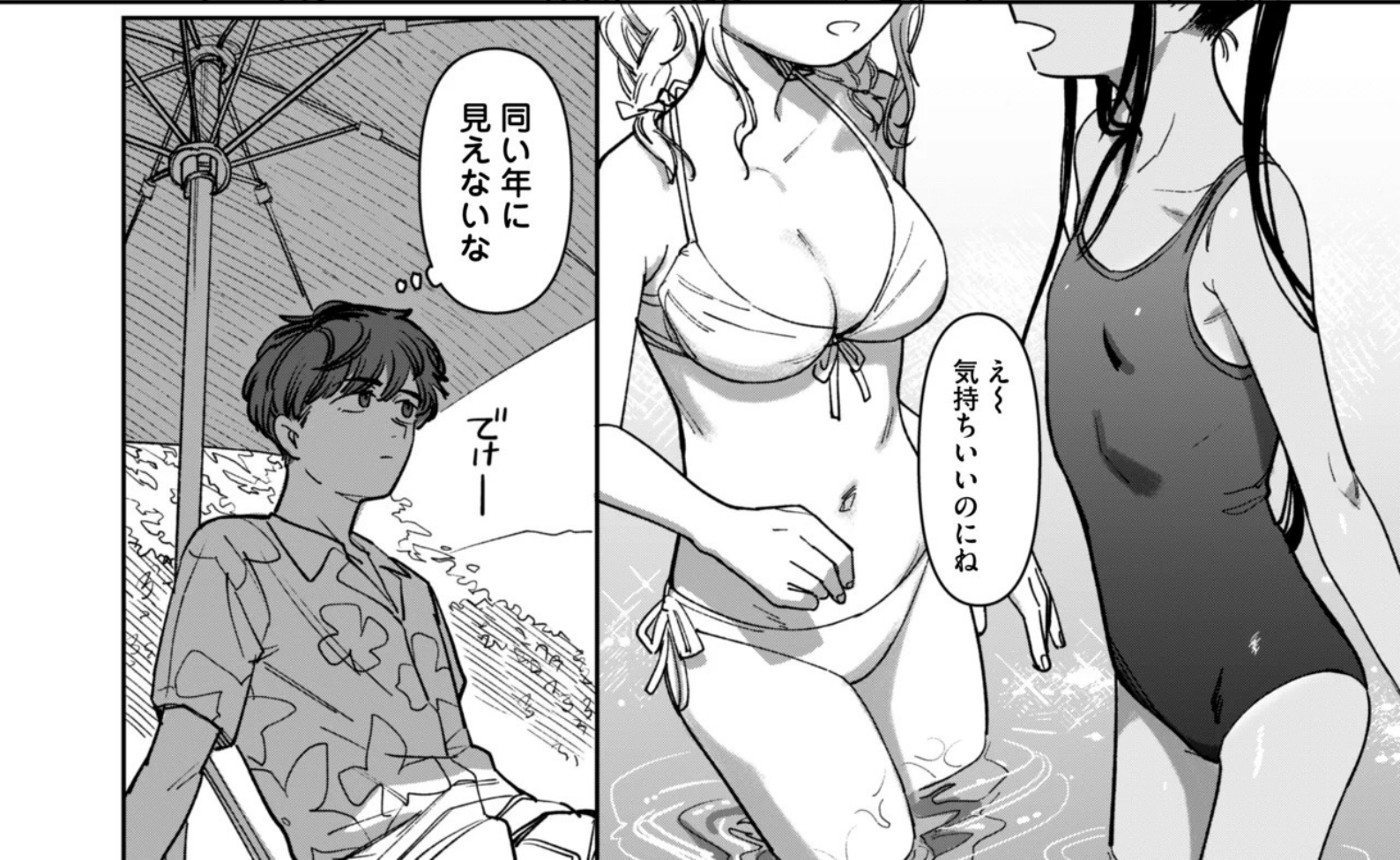
こんなことがなければ
来年にでも東京で
パティシエになれたはずだ





おじさん
泳がないの？

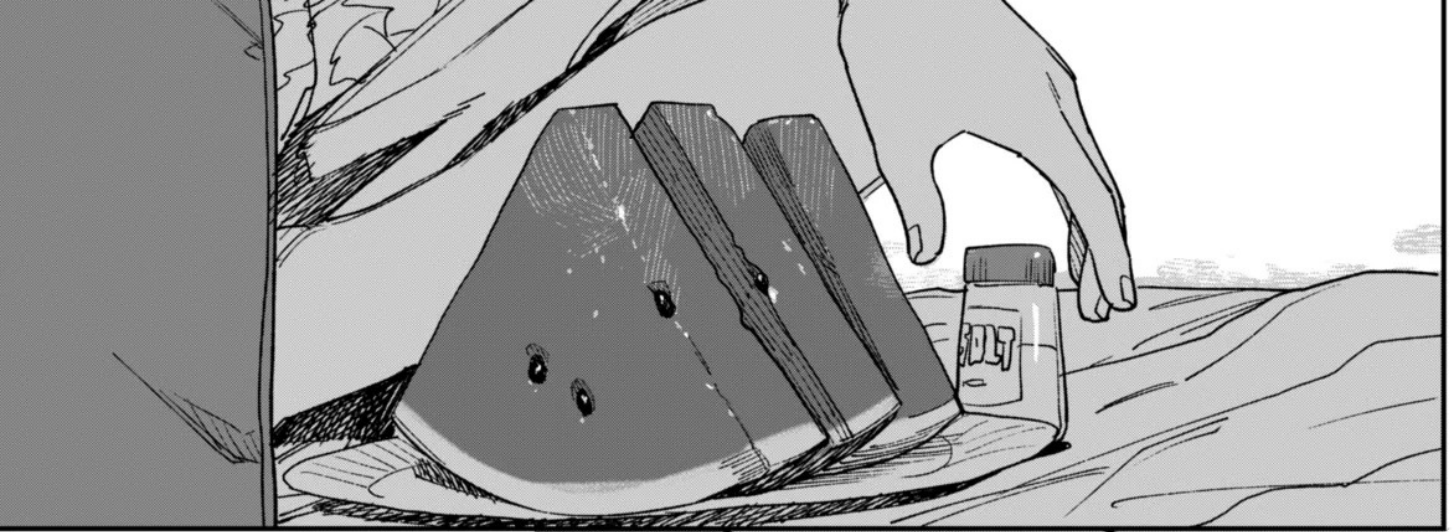
いーよ俺は

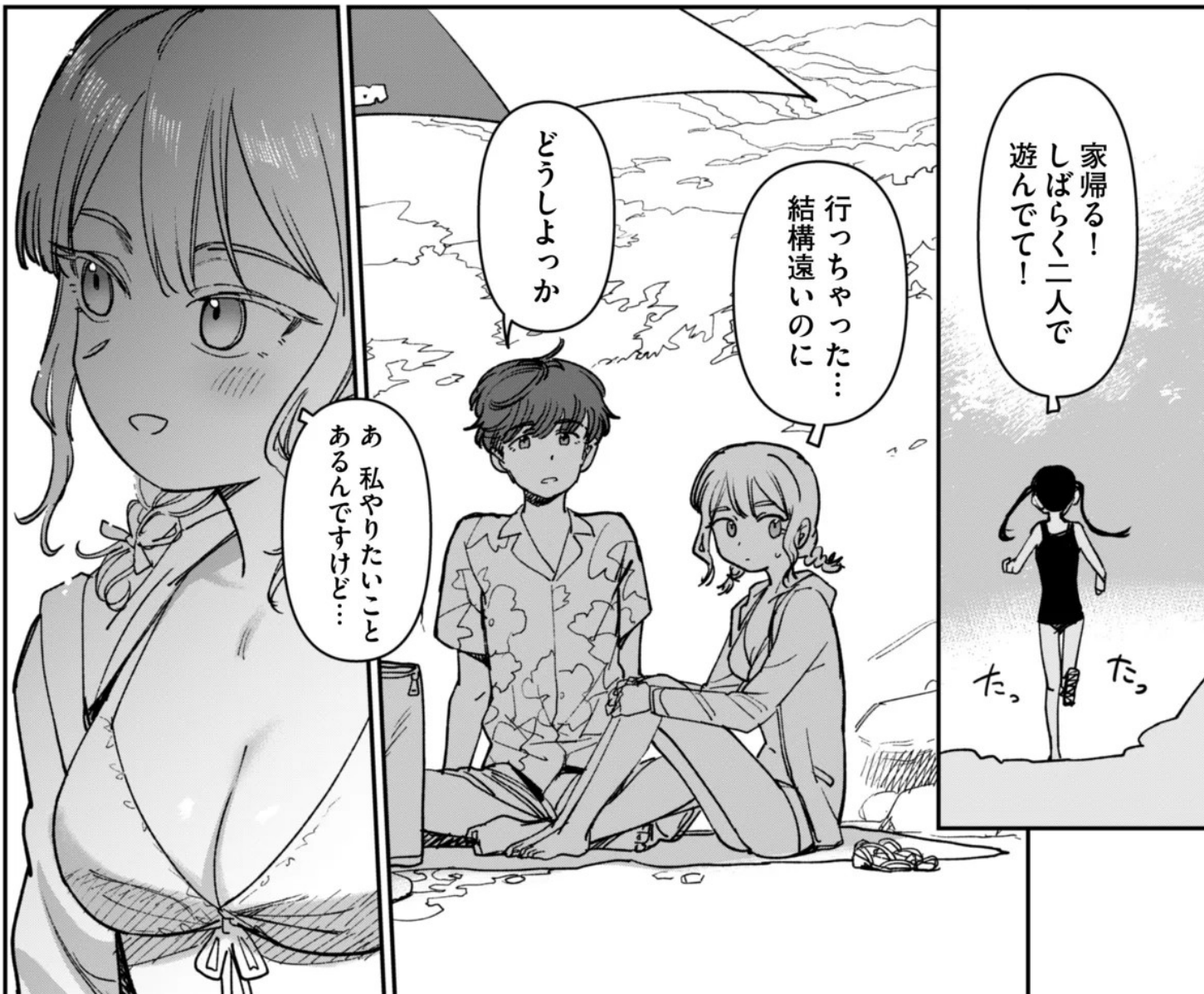


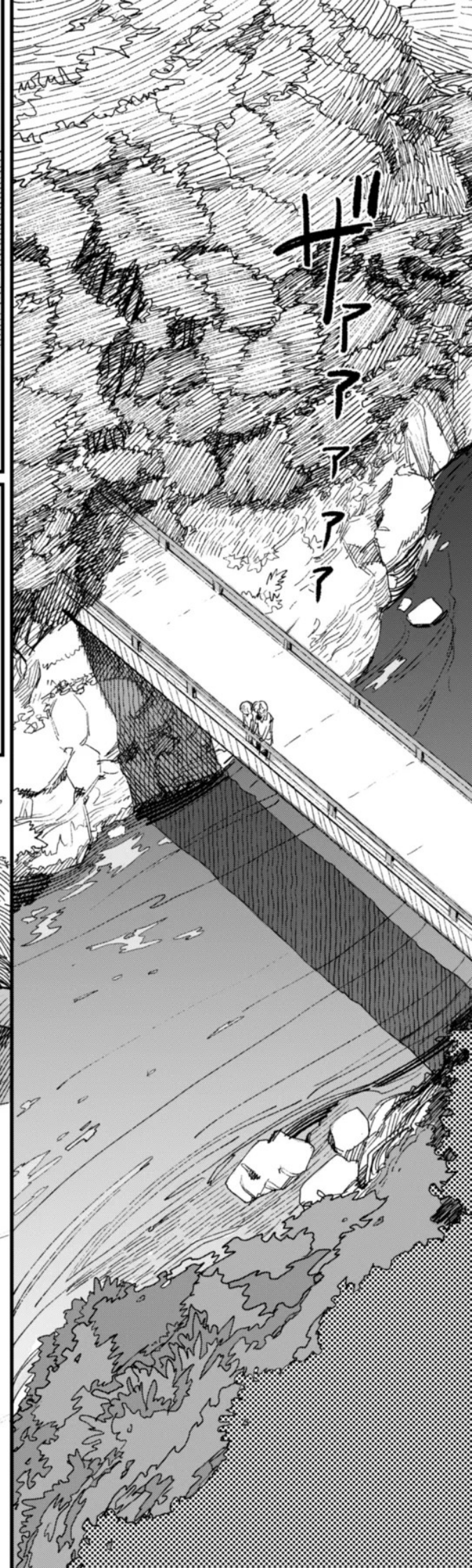
同じ年に
見えないな

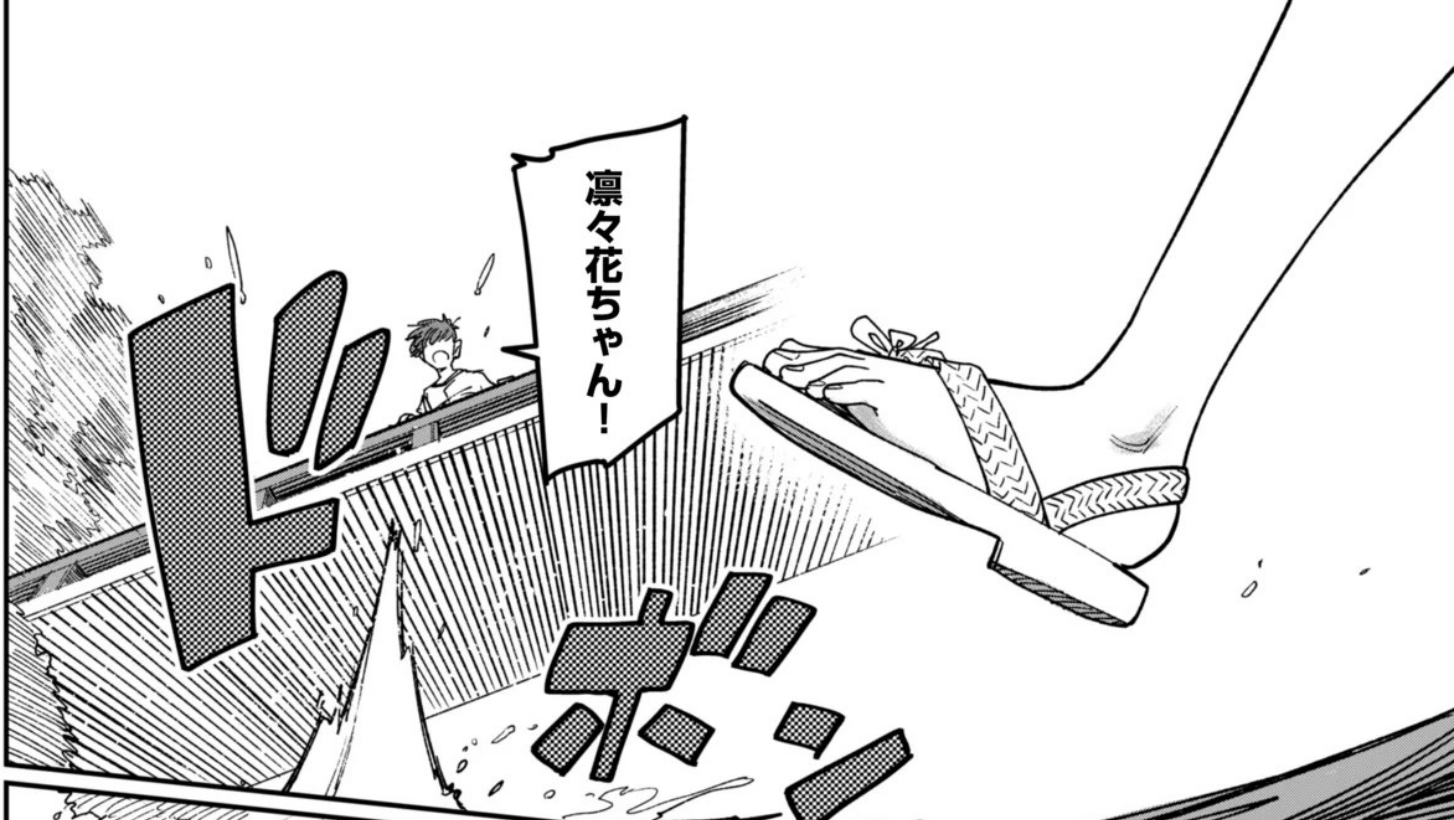
えく
気持ちいいのね

でけー









凛々花ちゃん！

ド

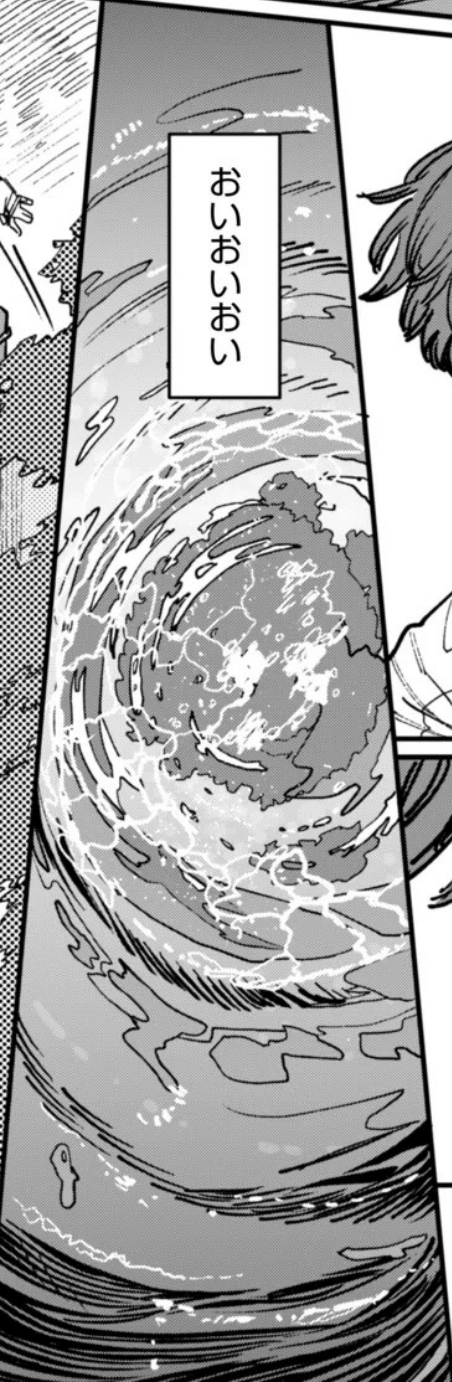
ド



シヤ



シヤレに
ならないって！

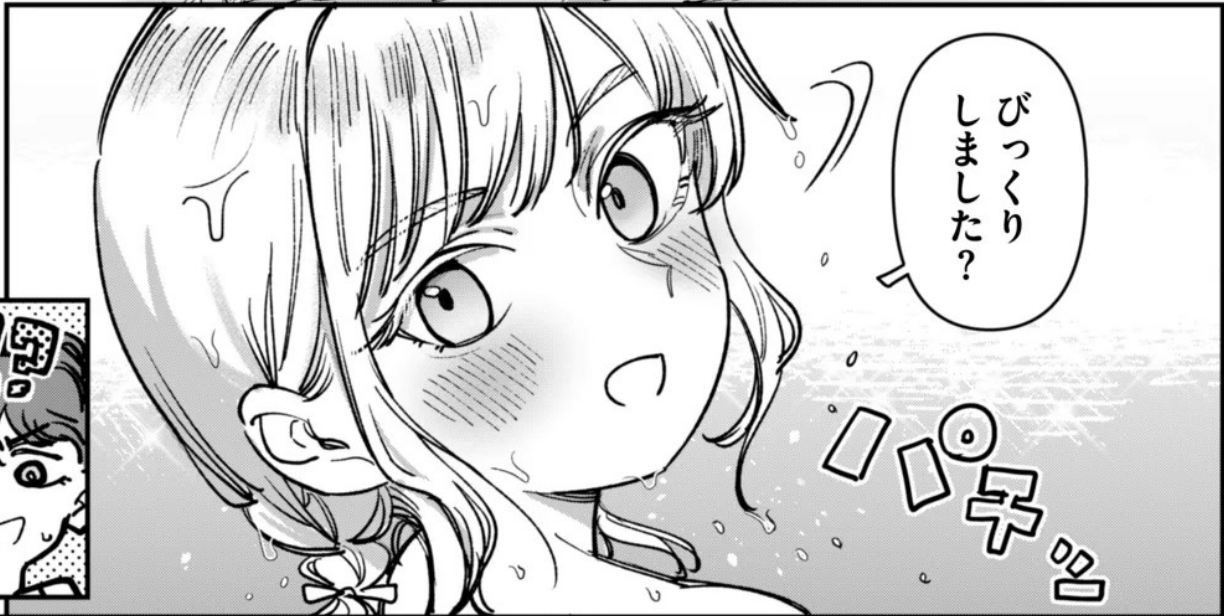
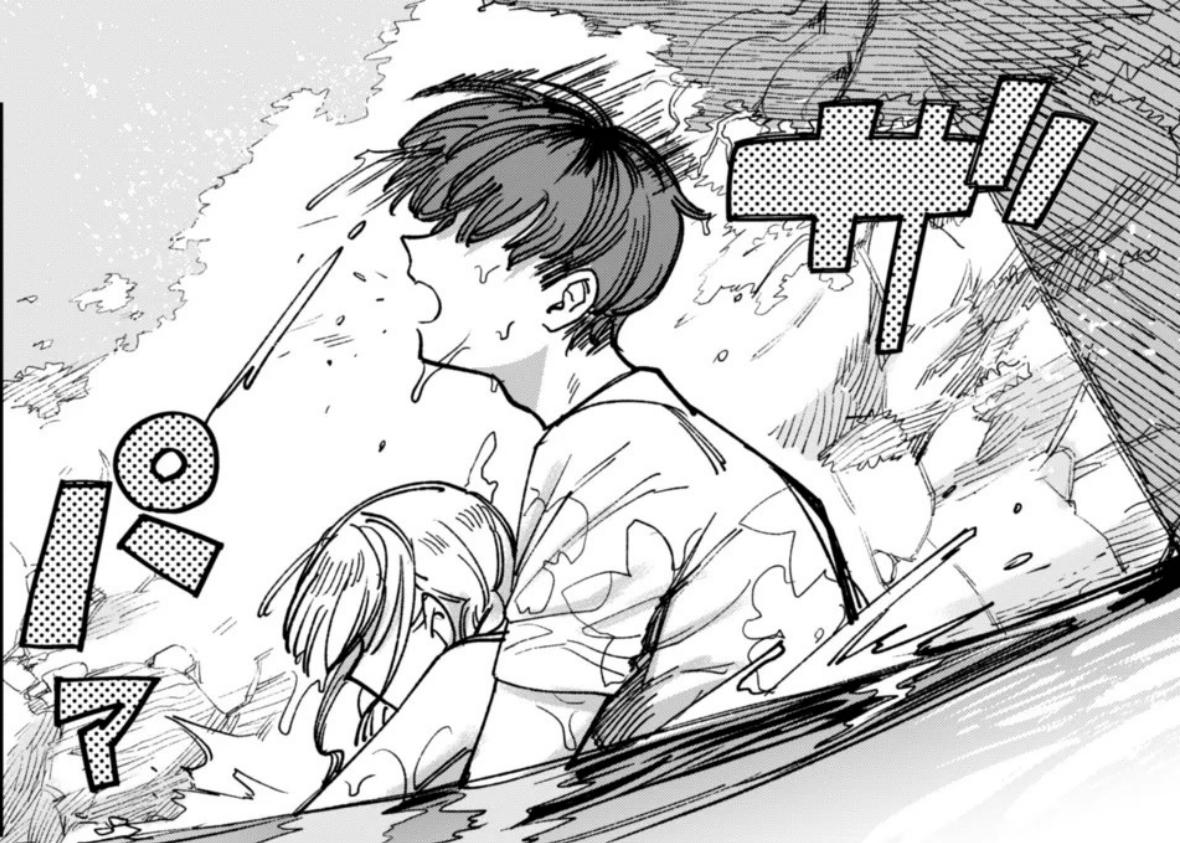


お





凛々花ちゃん!
大丈夫?!



びっくり
しました?



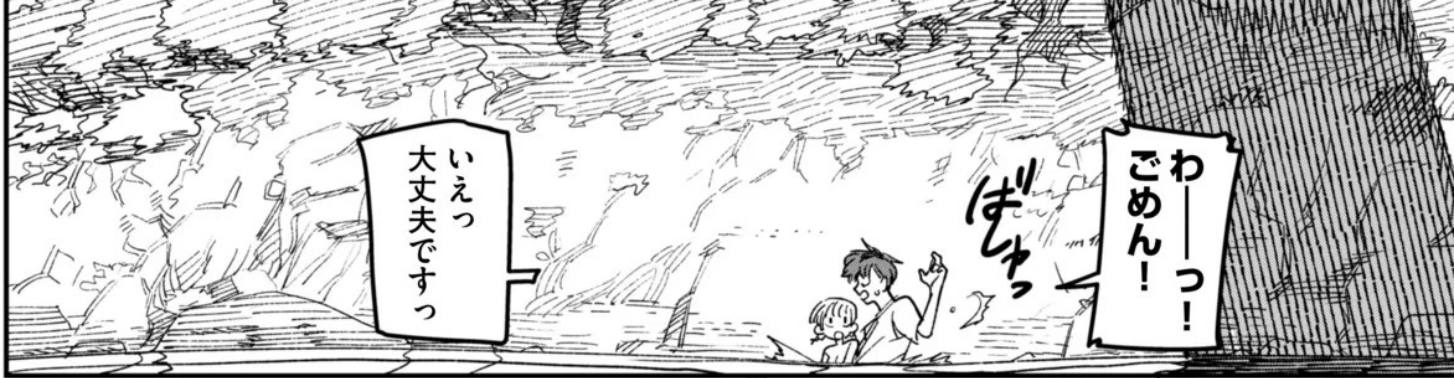
あ...



あははっ

ふい!

へにや...
よかつたよ
人が悪いよ



いえっ
大丈夫ですっ

びしょ

わーっ!
ごめん!



あ のっ

嫌じゃ...ないですから
離さないでください

り凜々花ちゃん...?

.....
それに私

ガッ



絶対秘密に
できますから...

そっ



今までずっと
女の子には
困らなかった

父親に感謝することが
あるなら容姿について
だと思っ

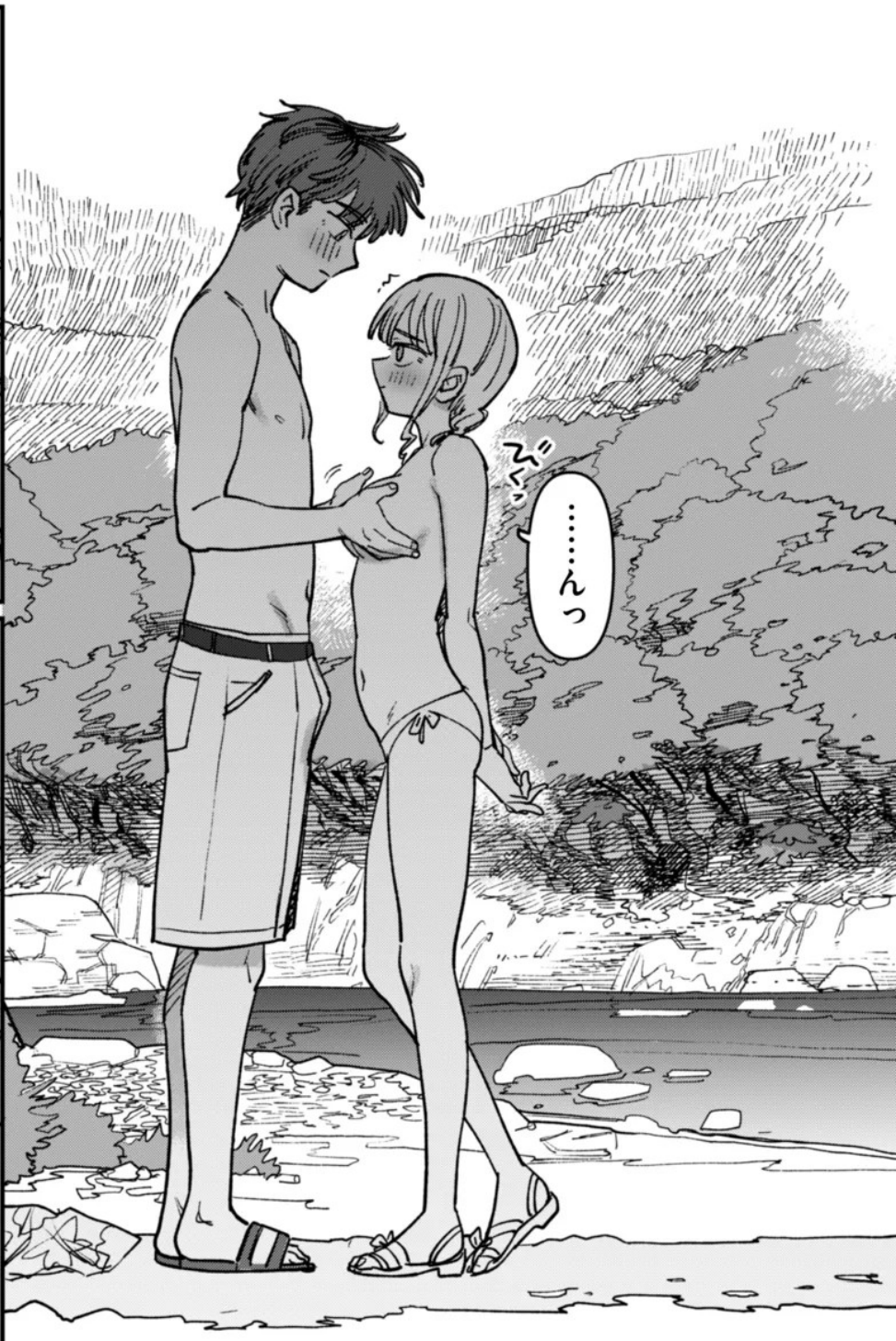


あ…いま
成長痛で

痛かった？



エロいなー
中学生



……んっ



そろそろ翠羽
帰ってくるから…

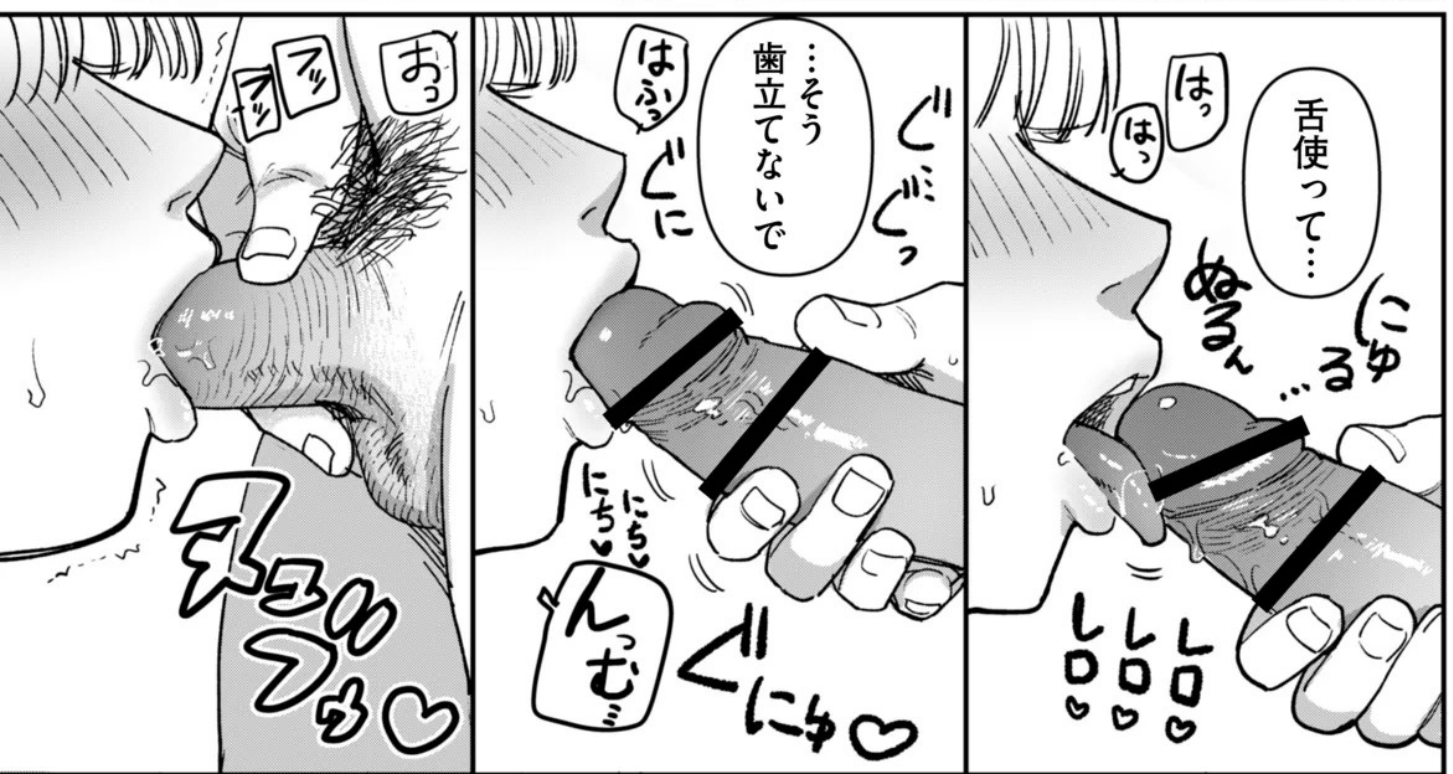


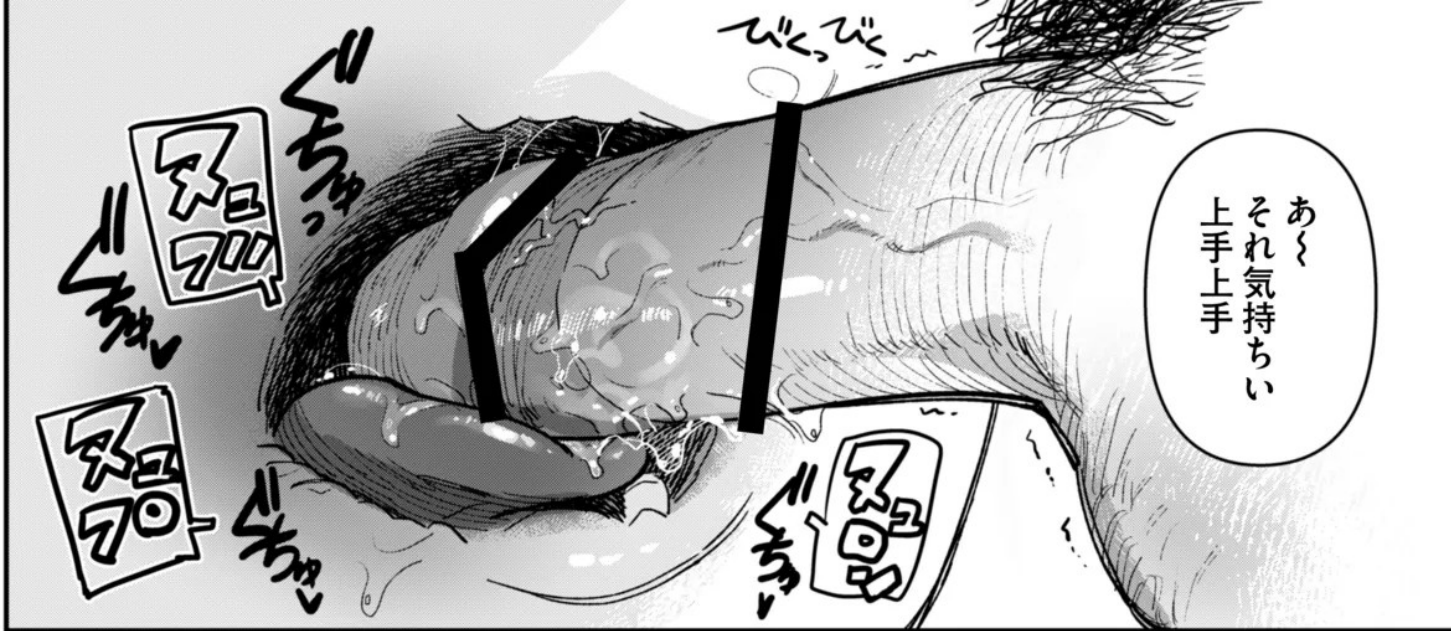
…そっしやがんで

そっしやがんで
なかつたんだけどな



…どうすれば
いいですか？

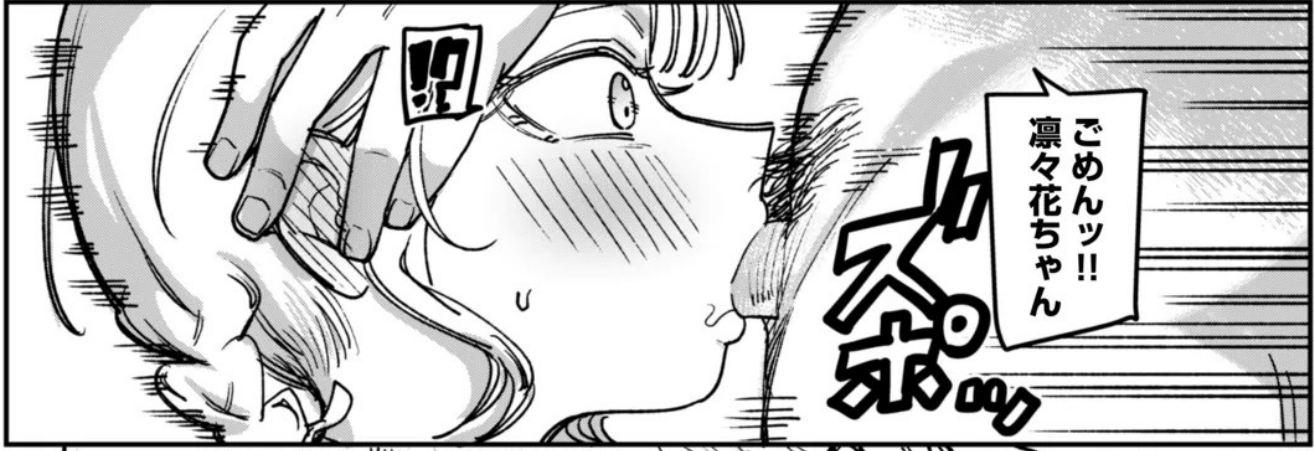




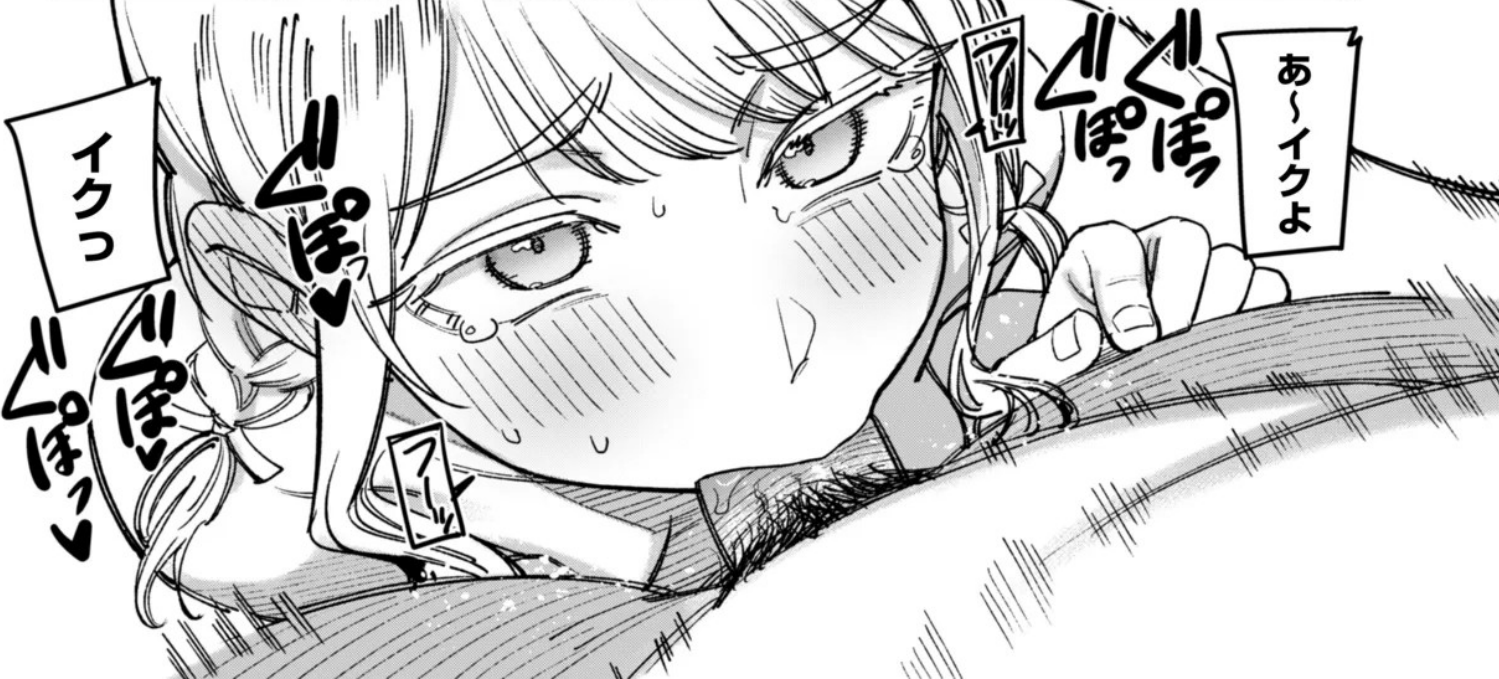
あゝ
それ気持ちいい
上手上手



初めてでこんな
...うわ
すぐイキそう



ごめんツ!!
凛々花ちゃん



あゝイクよ

イクッ





おじさーん
お風呂空いたよ

あいよ



すーちゃんと
お兄さんって
兄妹みたいですね

そうかな？
まあ仲悪くは
ないかな

…いいなあ



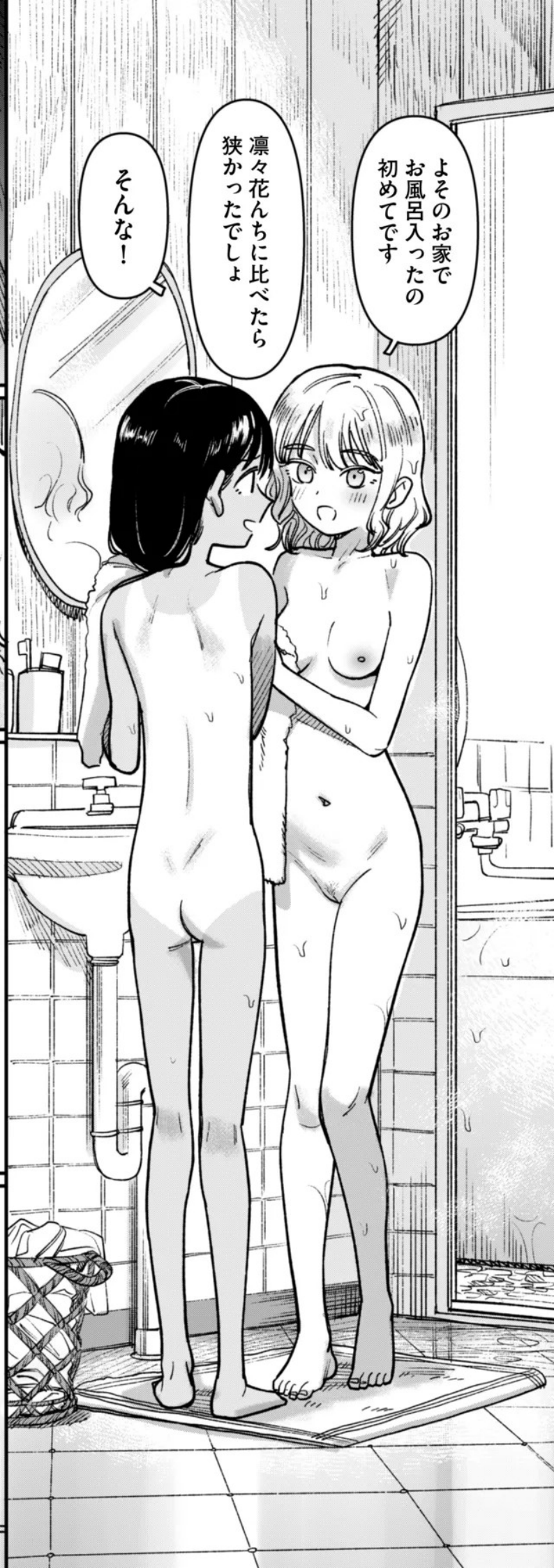
あれ
何で凛々花ちゃん
いんの？

今日お泊まり
言ってなかった？



お風呂
覗けなかったね

バーカ



よそのお家で
お風呂入ったの
初めてです

凛々花んちに比べたら
狭かったでしょ

そんな！



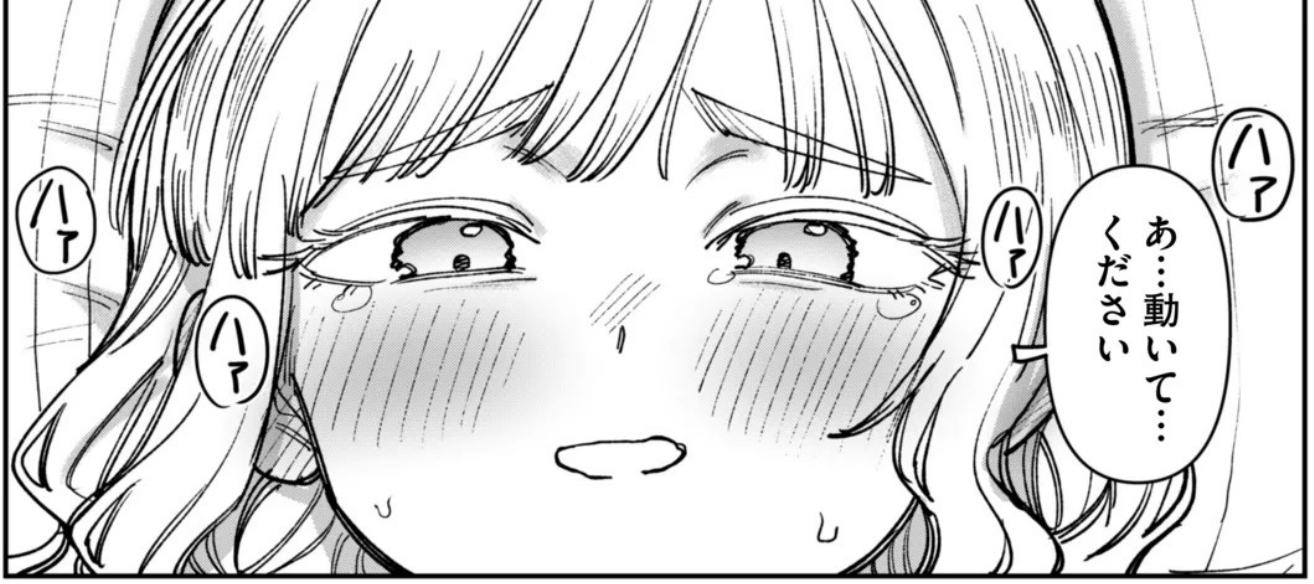
立派な両親がいて
恵まれた環境で大切に
育てられてる

凛々花ちゃんは
聡明な子だ

また後ほど

この子の未来は
常に拓かれてる

探偵なんかには
収まらない
医者でも
弁護士でも
きっと
何にでもなれる



ハア
ハア
ハア
ハア
あ…動いて…
ください



もうちょっと
慣らさないと
痛いでしょ？

いえ…これは
その…

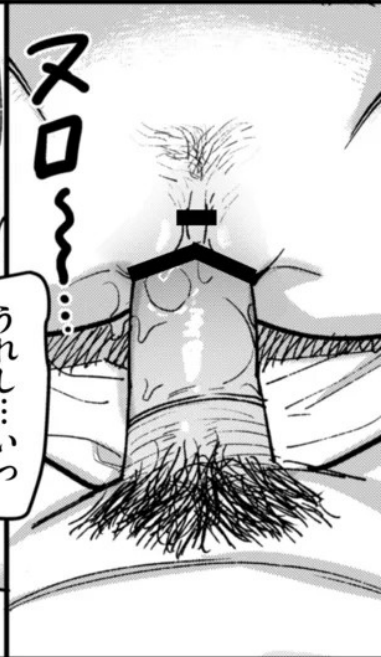


凛々花ちゃん…
可愛いね



お兄さんと
繋がれたのが
嬉しくて…







ドム

ヒュルルル
ヒュッ
おおっ...

アッ



あ~~~~っ
すげえね

びびり

びびり

びびり

びびり

びびり

びびり

びびり

びびり

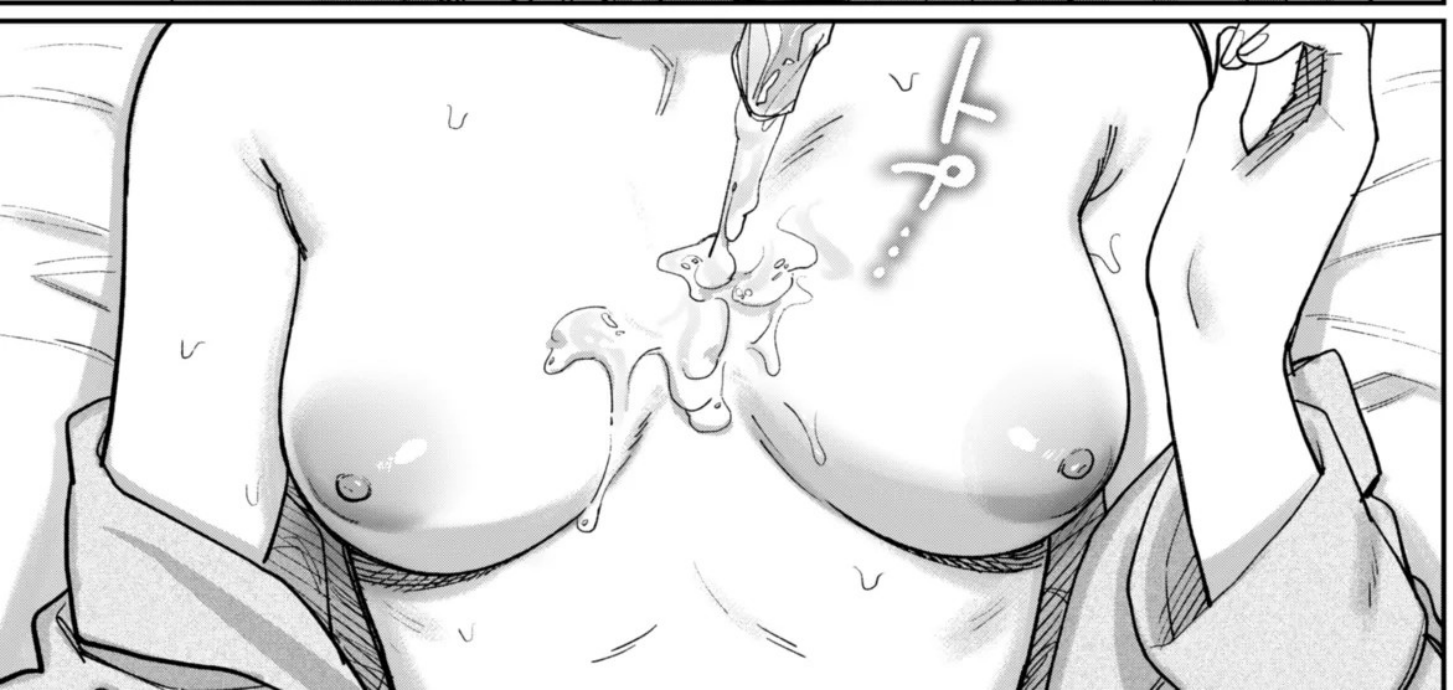
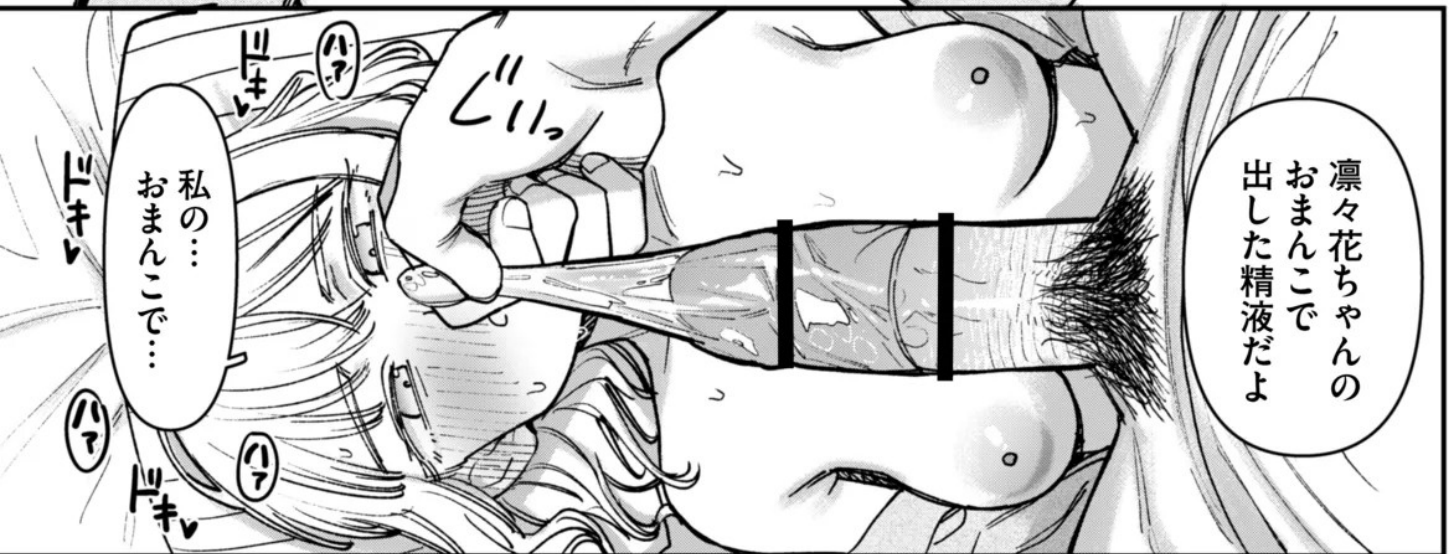
びびり

びびり

びびり

びびり

びびり



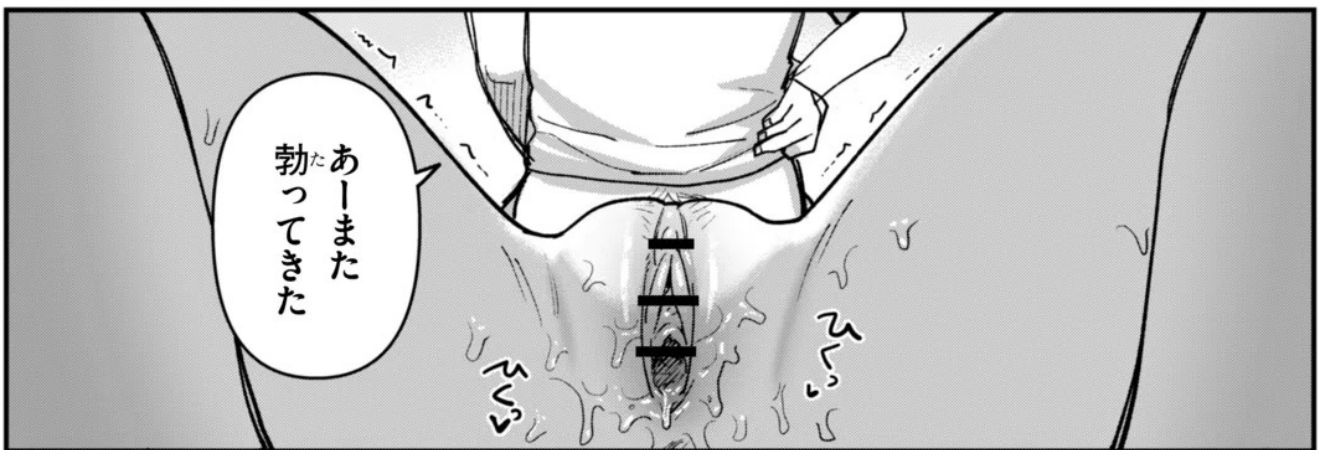


んっ

か
ぽ
っ
♡



き
れ
こ
じ
っ
て



あーまた
勃たってきた



凜々花ちゃん
エロすぎ...

んっ

ぬ
っ
っ

ぬ
っ
っ

いいよ
そのま
ま...





これくらい幸せ
享受したっていいだろ

えいっ



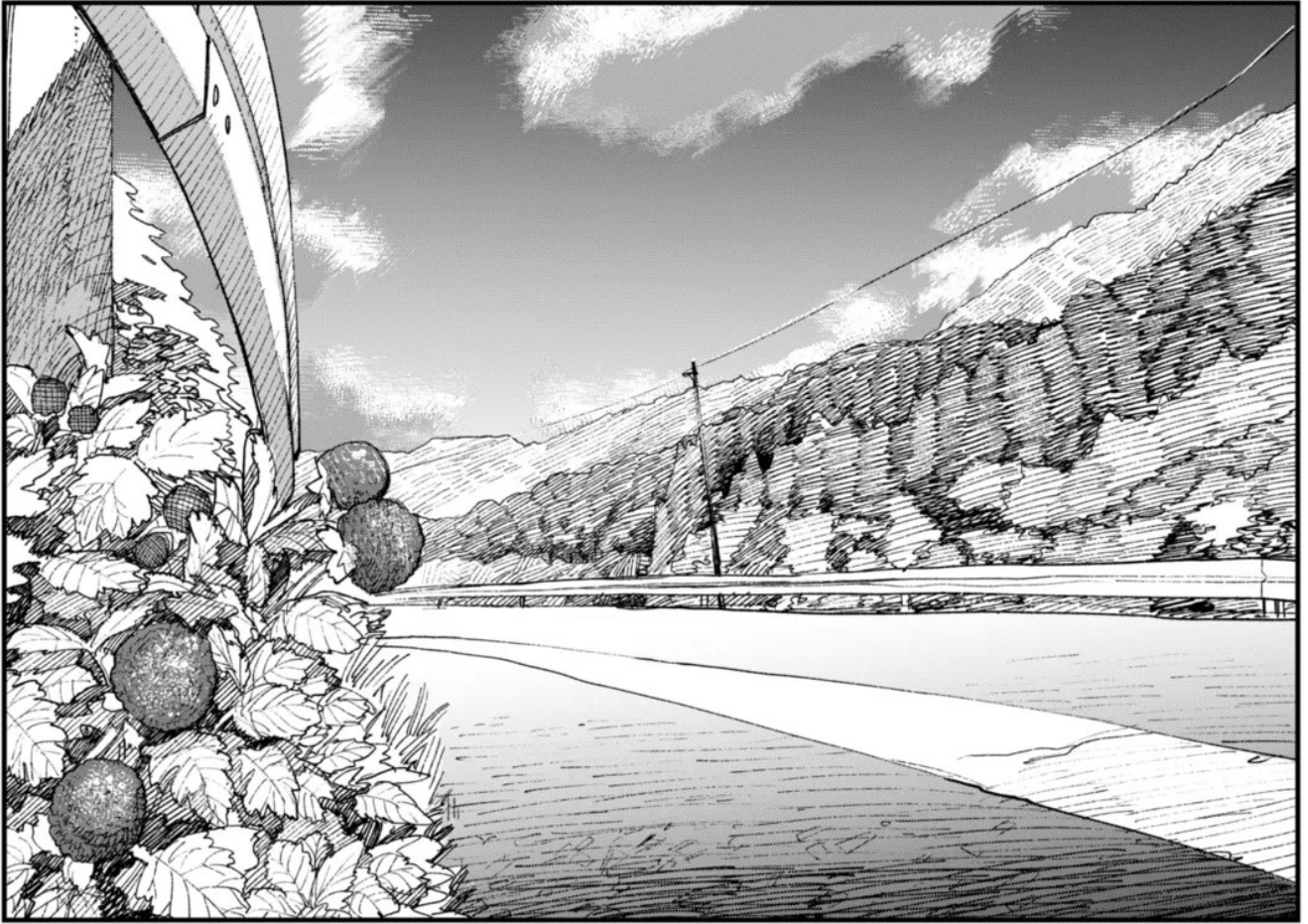
凜々花ちゃん
ここじゃ
まずいって

今まで散々な
人生だったん
だから



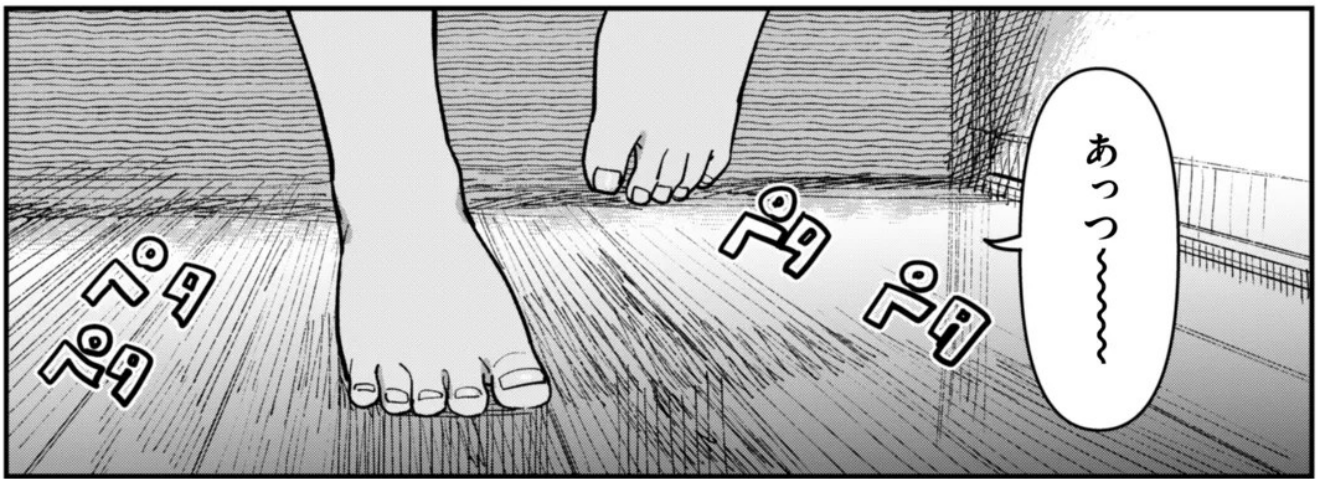
お兄さん お祭りなんか
抜け出しちゃいませんか？

——でも
何かを取りこぼした
気がする



二章

翠羽



あつ!
何食べてんの?

すもも
ジャム作った
やつ之余り
食う?

酸っぱいやつ?
いらなーい



凛々花ちゃん
帰ったの?

うん
変わった子
だったでしょ!

お前が言うなよ



勉強もできて
顔も可愛いし
ほんとお嬢様って
感じだよな

庭に葡萄^{ぶどう}とかもあってさ
庭師付き！すごいぞ！

あー山の上の洋館
凛々花ちゃんの
家だったんだ

聞いて！

凛々花んち遊びに
行った時にさ
ドラマに出てきそうな
大っきい家でね
メイドさんいるの！
紅茶もらっちゃった



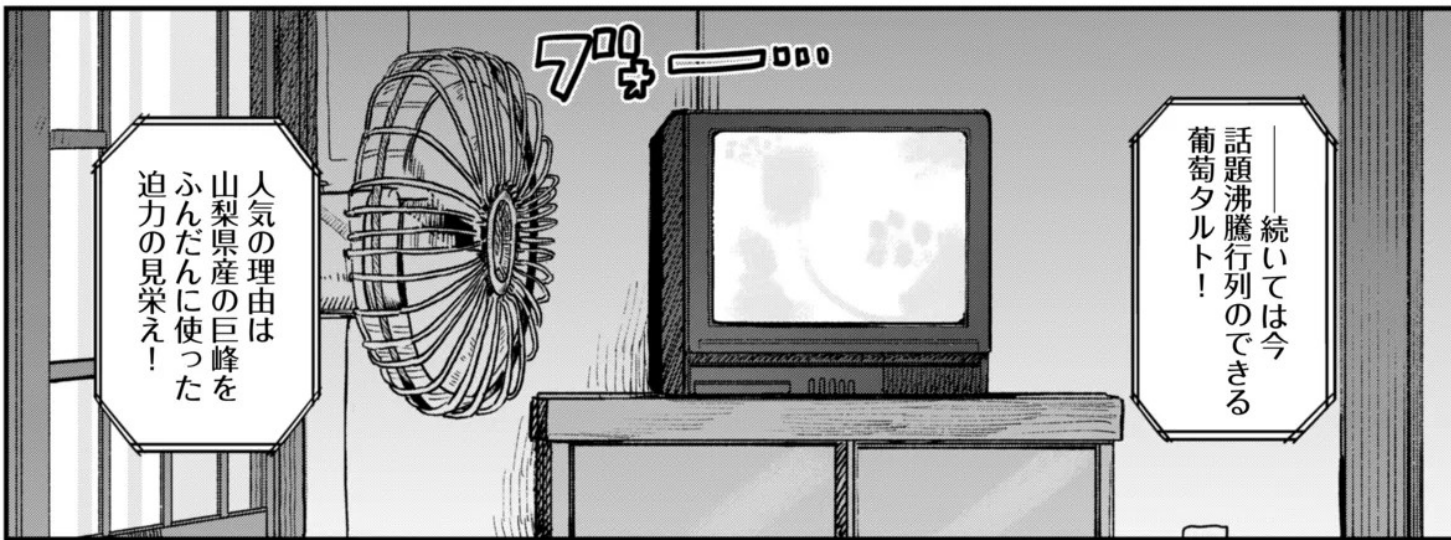
：翠羽^{すずう}
暑いどいて

いっやだ〜



あたしは知っている

あきらかに
慧叔父さんは
あたしに逆らえないって



続いては今
話題沸騰行列のできる
葡萄タルト!

人気の理由は
山梨県産の巨峰を
ふんだんに使った
迫力の見栄え!



ねー…
えっちしょ?



あー……

今日遅くなるって
晚ごはんも
おじさんと
食べてだってさ

ばーか
姉ちゃん
帰ってくるだろ



汗かいたから
臭いぞ

気にしないもーん



ならいつか

やったー!!



もうちょっと
雰囲気とかさ…



なにそれ

なんで俺たちちって
映画みたいに
始められねーんだろ

カチカチカチ……

気持ちいいーことできたら
何でもよくなる？

カチカチカチ……



どうだろうなー

おっぱい揉んだら
大きくなるって
本当かな？

にに
にに

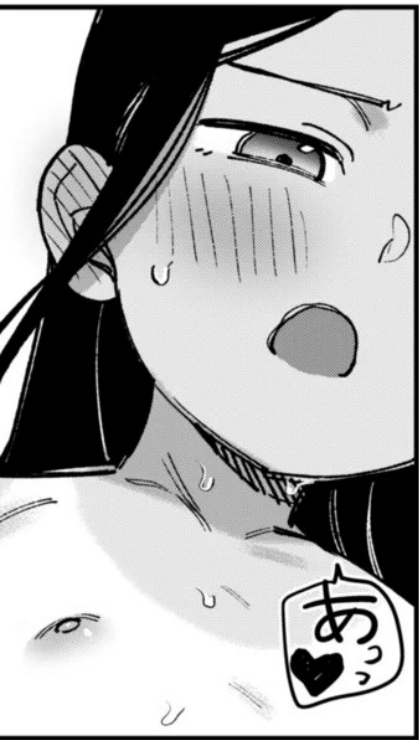


た……



ひな

れろ

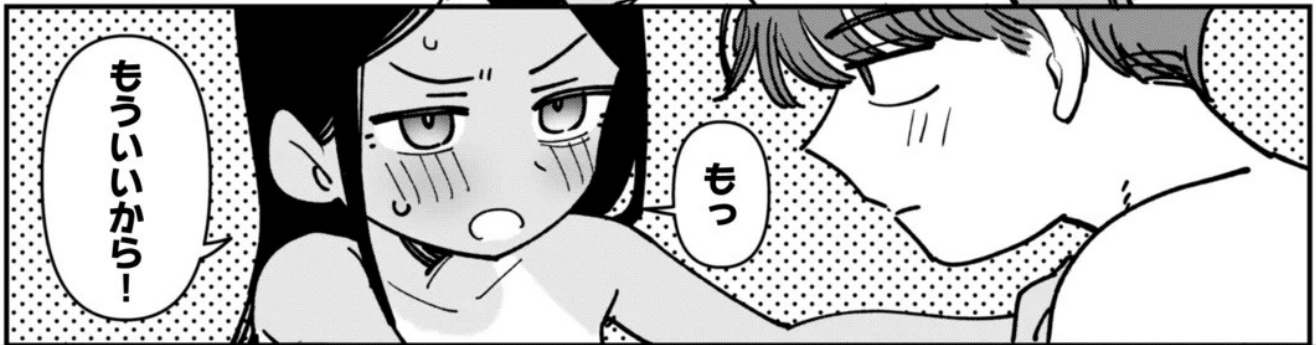


こんなことしてるの
学校であたしだけだ

凛々花だって
してない

んっ
んっ
んっ
んっ

くちゅ
くちゅ



きついいから!

もっ



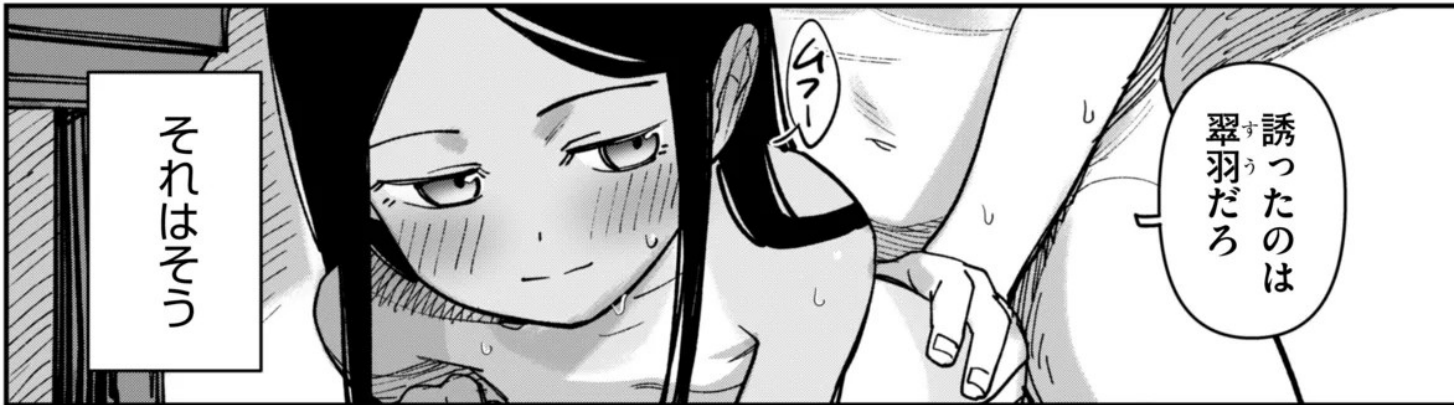
こっち!

んっ
んっ
んっ
んっ



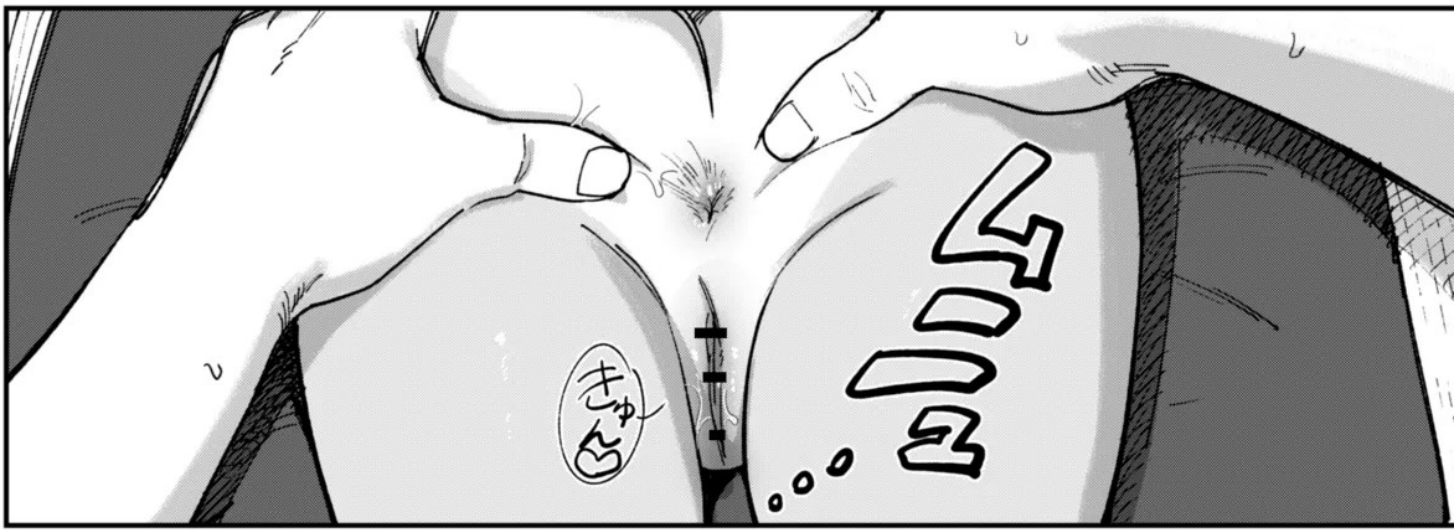
あーあ
こんなエロガキに
育っちゃって

教えてくれたのは
おじさんじゃん!

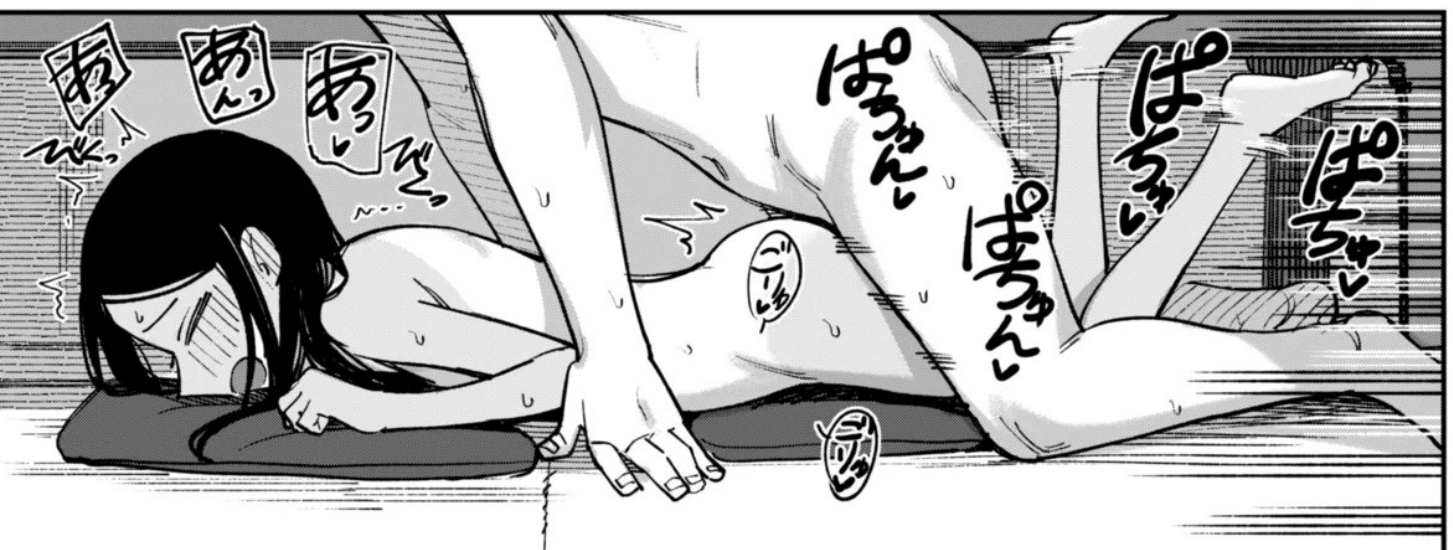


誘ったのは
翠羽^{すずは}だろ

それはそう



ねえく
はやく
挿れてよ





気持ちいい？

これっずっと
奥あたって…

…俺も
気持ちいいよ…

気持ちいいっ

あ

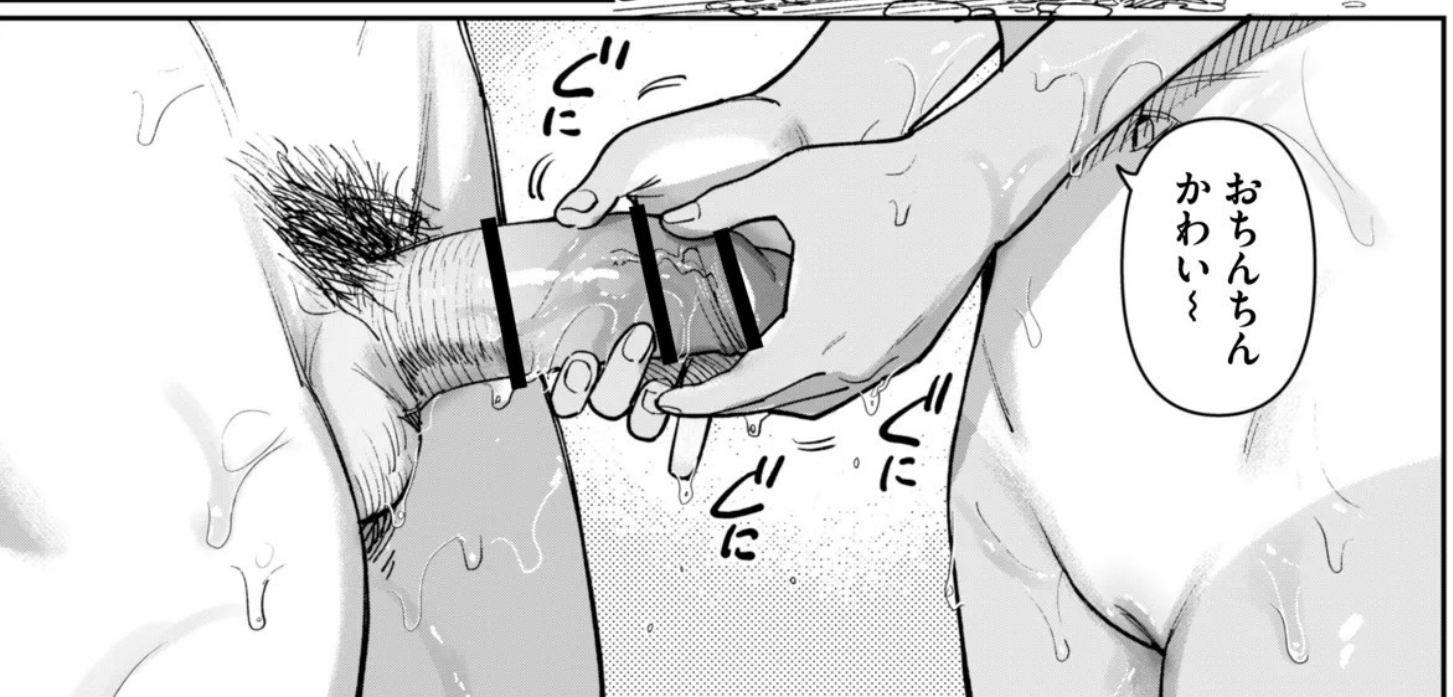
はあ

はあ

ほちゅ

ほちゅ
ほちゅ







おっ

なんか硬くなってる
んだけど〜？

ハァン



ここ声響くね

声
抑えろよ



翠羽^{すず}だって
濡れてるだろ

ひゃっ!!

ヌル



あたしの身体に
興奮してるんだ〜



翠羽...っ
声!

あ♡やっぱ無理っ

たん

たん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

おん
おん
おん

おん
おん

おん
おん

おん

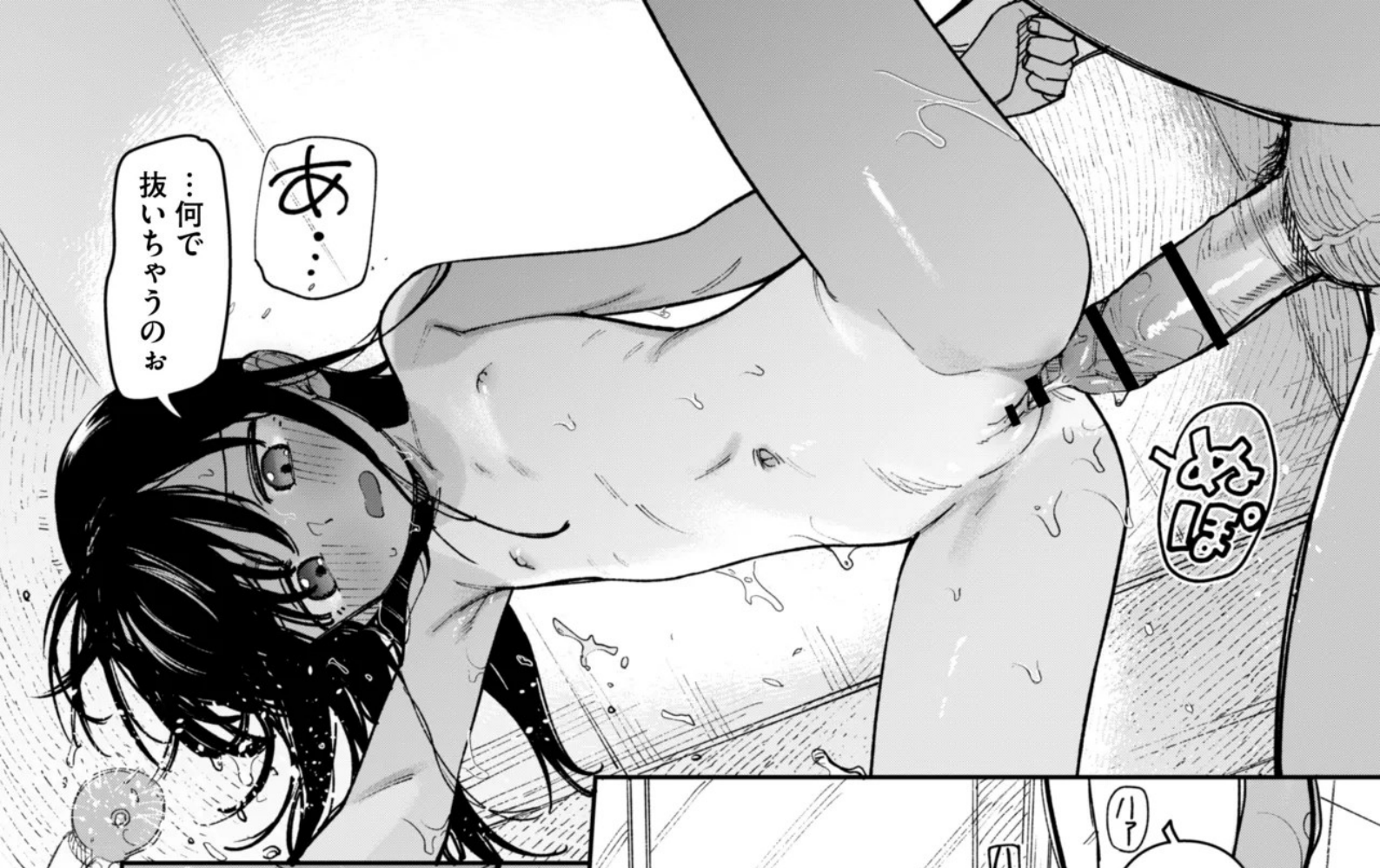
あ

あ

あ

あ











テキトーに
作るか

晚ごはん
何作んの？

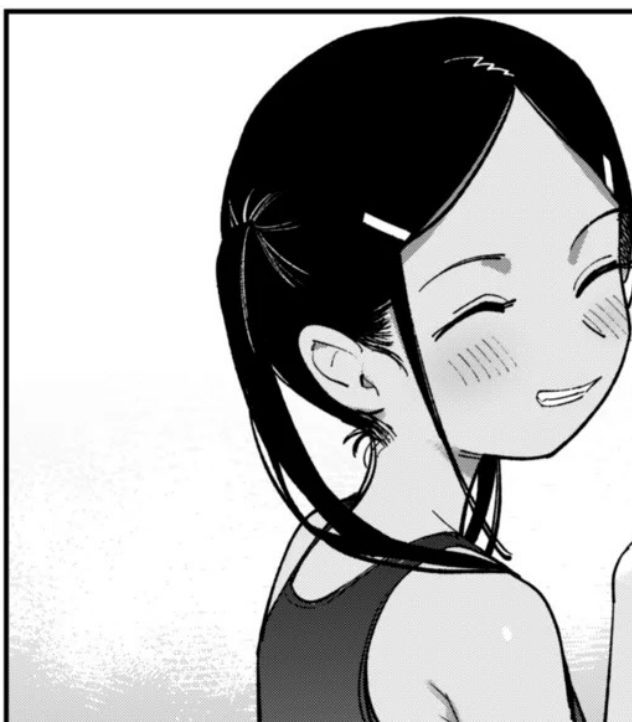
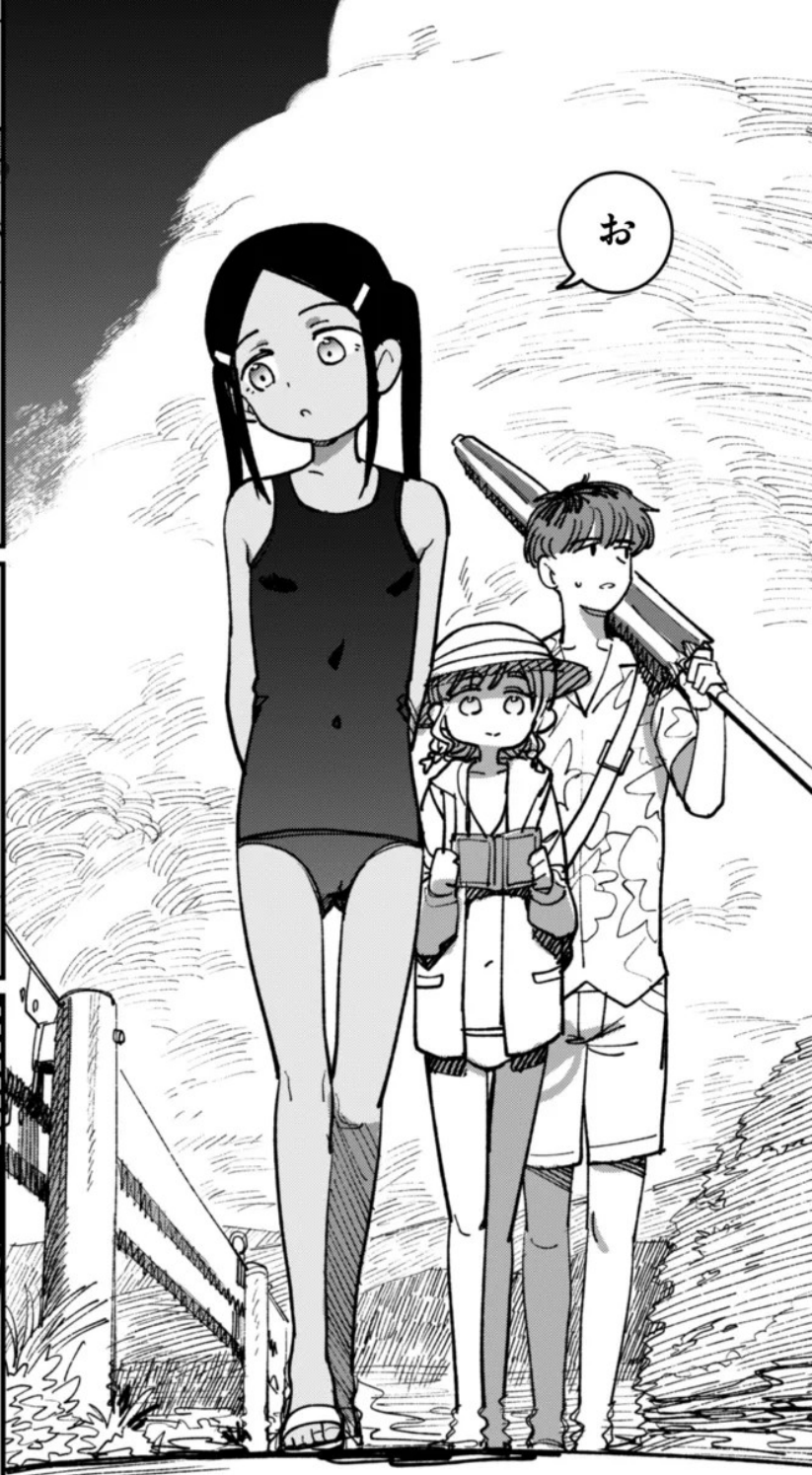


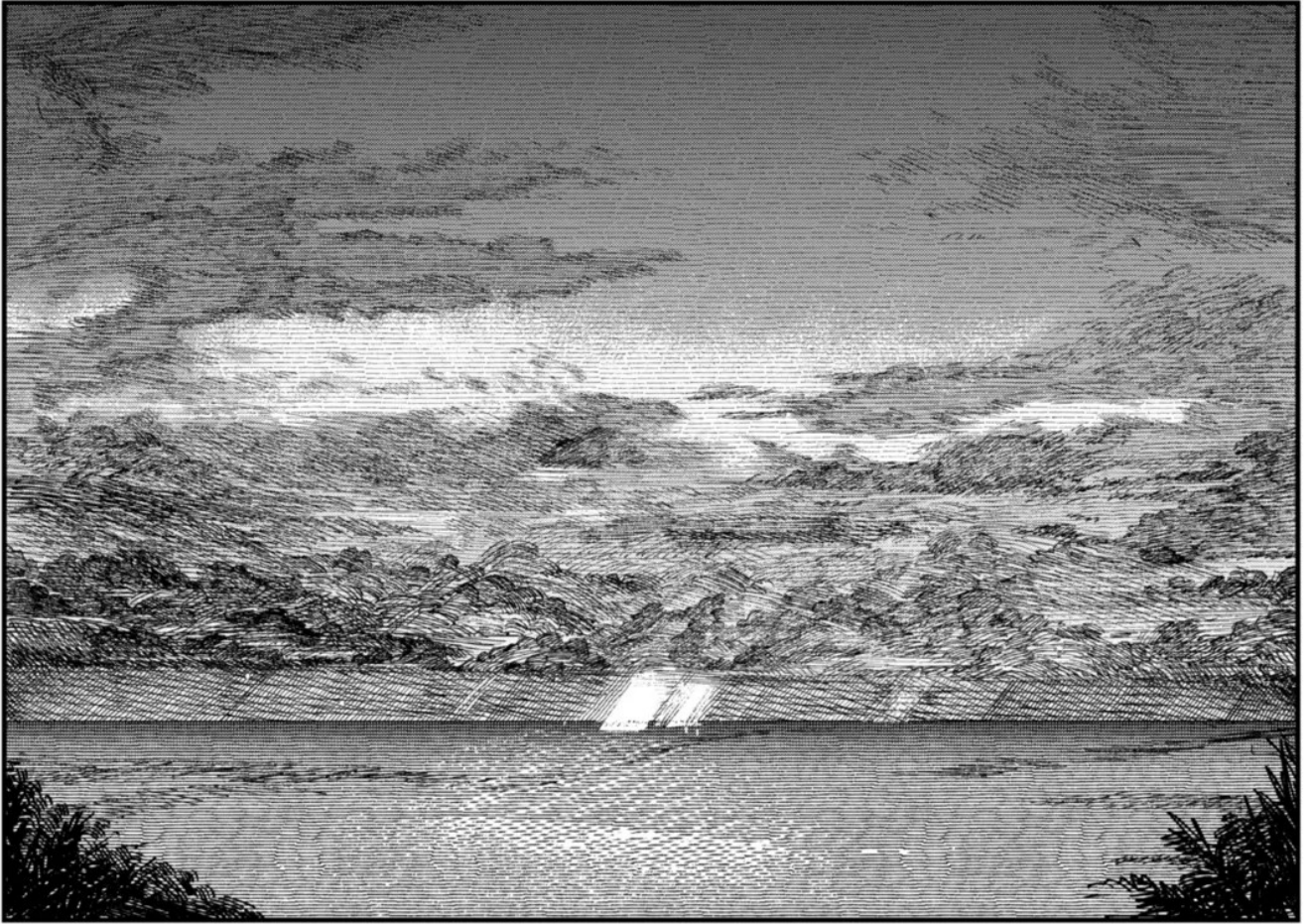
ん？



翠羽^{すう}こんなの
読んでんの？

それ凛々花の
忘れ物！





三章

凜々花



読書感想文の
題材もつと
簡単なやつに
すればよかった〜

確かに…
すーちゃんにしては
硬派な題材ですね

こーは？
…こーいうの
読んでたら
かっこいいかも
って思ってた〜



すーちゃんにも
お勧めの推理小説
お貸しましょうか？
簡単なもので…

凛々花の簡単は
難しそう…

凛々花はさ
推理小説の
どういところが
好きなの？
やっぱ犯人探し？



じゃあ何が
面白くて
読んでるのさ

あはは…面白いところは
色々あるんですが…

え!?



そうですね…
私犯人が誰かとかは
興味ないです



犯人がどうしても
隠したかった秘密を
探偵が白日の下に晒す…

それって
残酷で暴力的で…
魅力的じゃないでか？

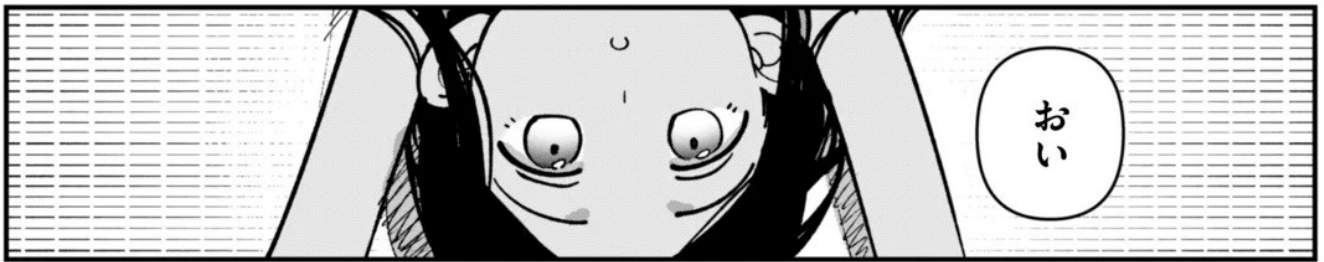
残酷？
悪いことしたんだから
当然でしょ？

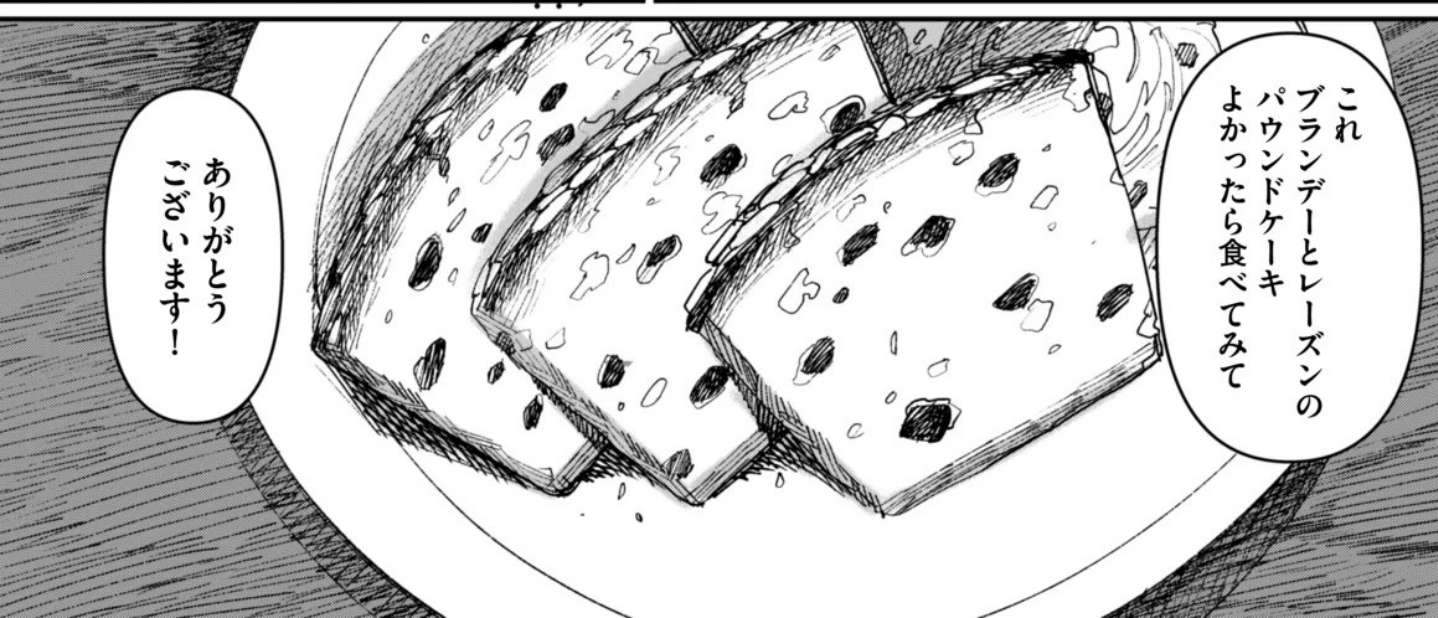
良い悪いは置いて
犯人と被害者には
殺人を通して
絆が生まれるんです

それは犯人の
好むと好まざるとに
関わらず…

そういう絶対的で
不可逆な絆に
惹かれるんです









若い方におじさんは少し気が引けます…

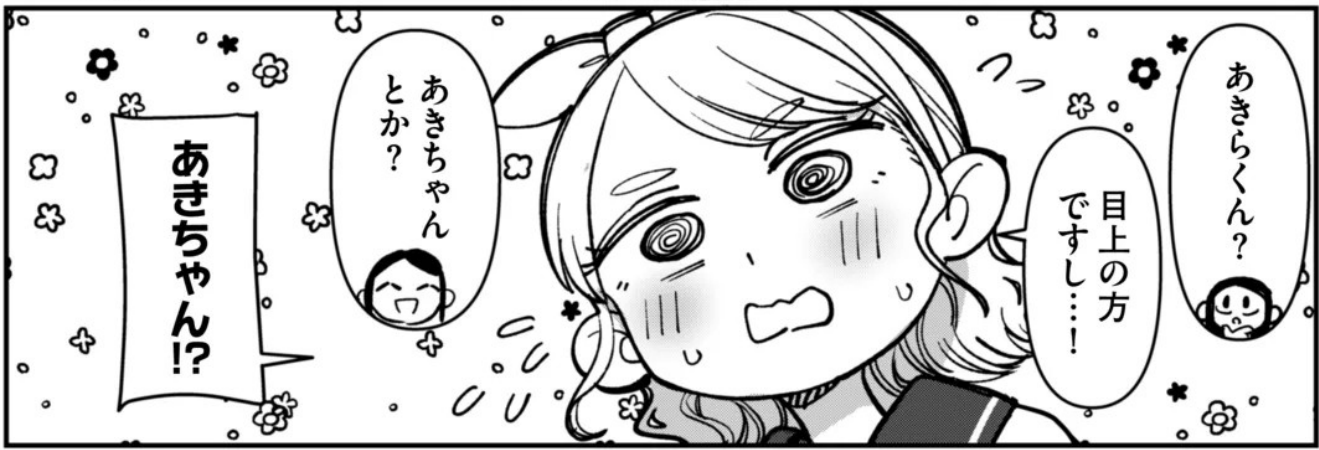
おじさんでいいよおじさんで

あきらさん…

ああ 慧あきつひって名前 なんだけど



……それでなんと お呼びすれば いいでしょうか？



あきちゃん!?

あきちゃんとか？

目上の方ですし…!

あきらくん？



ええと…それでは 差し支えなければ



凛々花ちゃんつまんないの 好きに呼んで くれていいよ

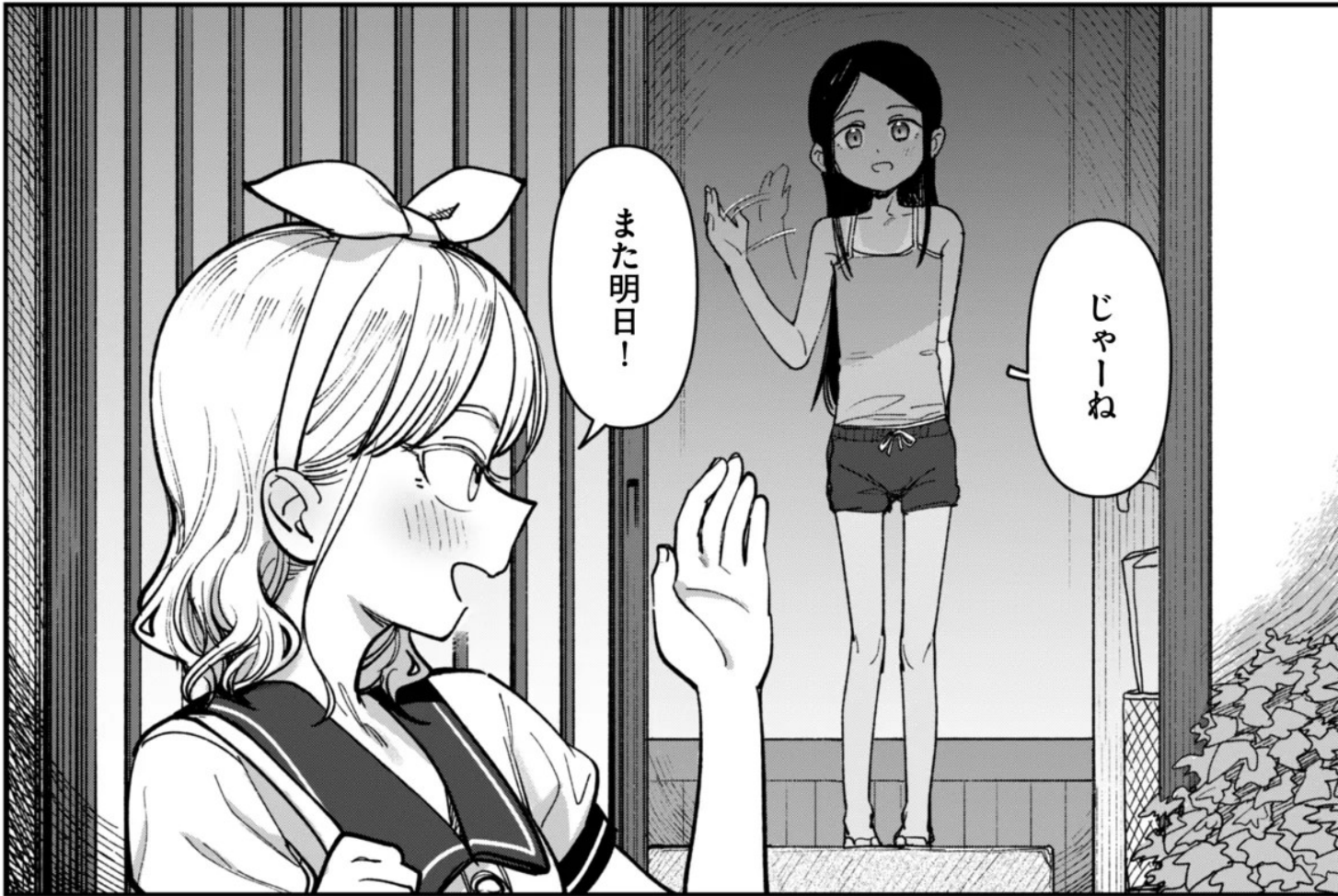




川行くときは
濡れても
いいやつに
しなよ

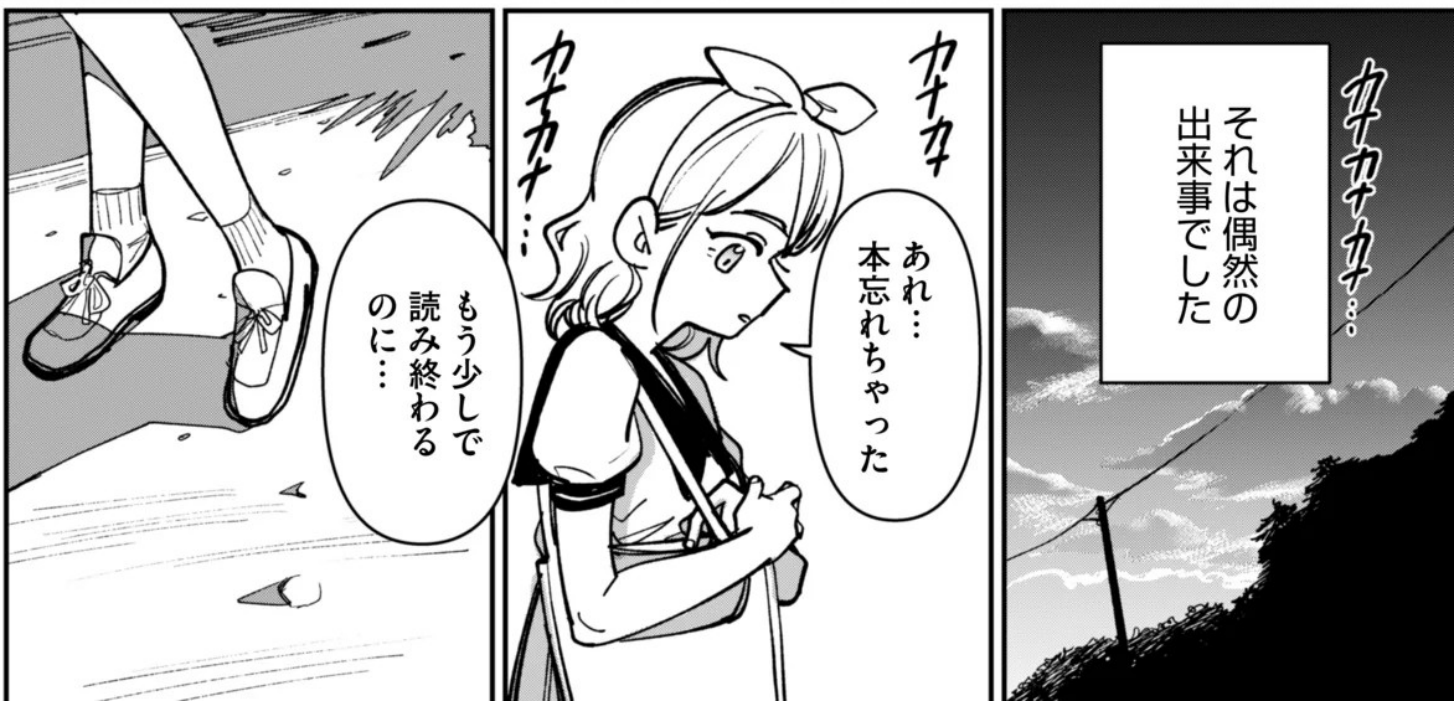
はい！
実はもう
水着と一緒に
買ってあるんです

「きゅん」



じゃーね

また明日！



もう少しで
読み終わる
のに...

あれ...
本忘れちゃった

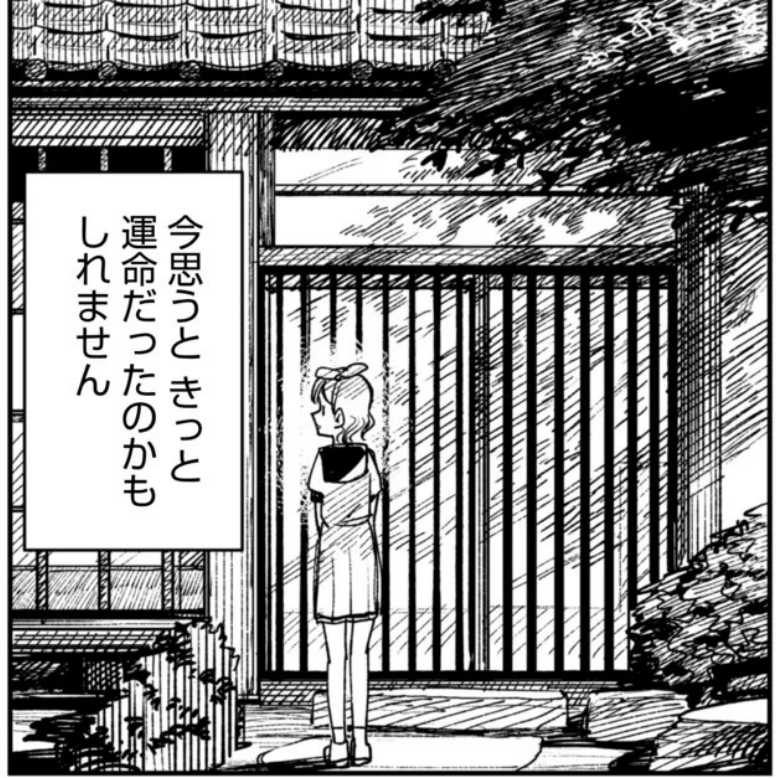
それは偶然の
出来事でした

カチカチ...

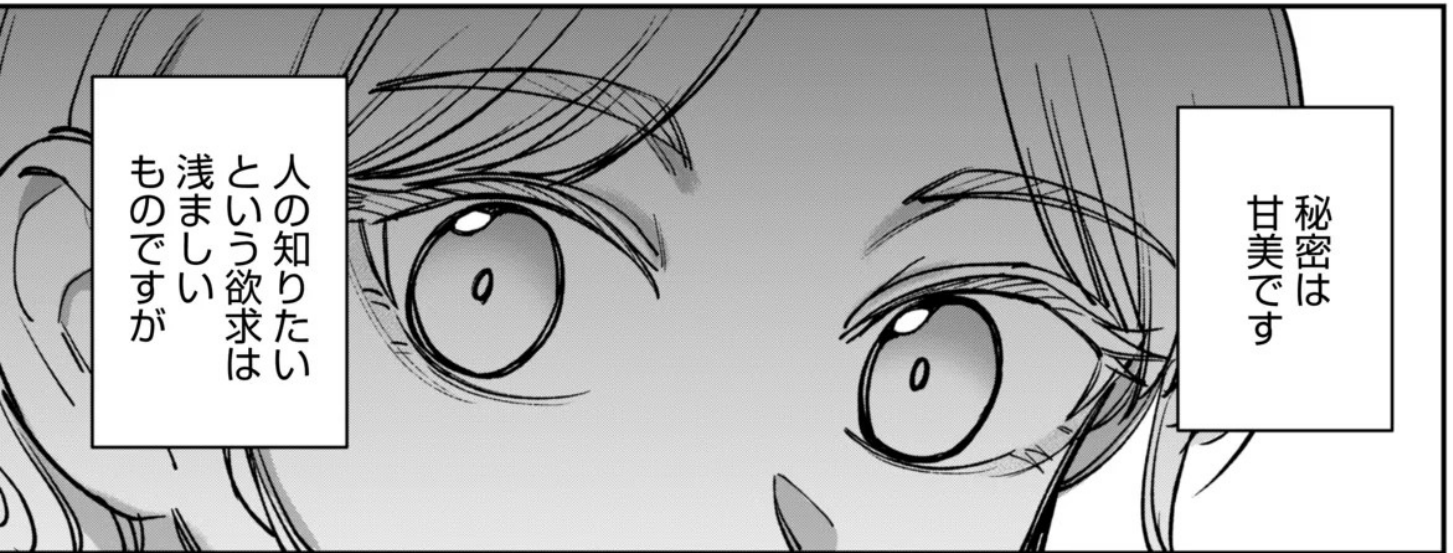


カナカナカナ...

すーちゃん



今思うときっと
運命だったのかも
しれません



秘密は
甘美です

人の知りたい
という欲求は
浅ましい
ものですが



止めることなど
到底できません

あ
カナカナカナカナ

あ
カナカナカナカナ



家の人はいないの？

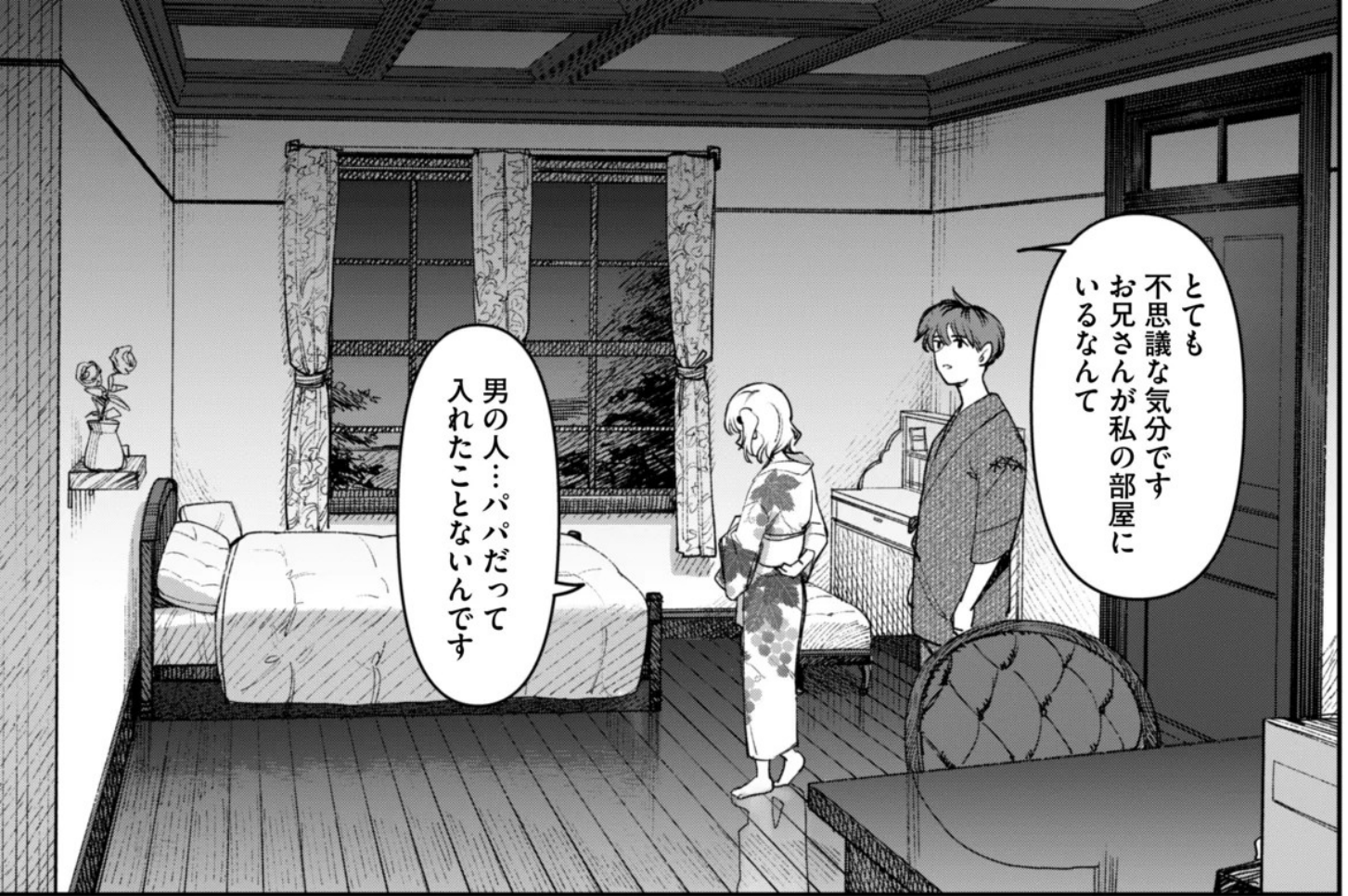


パパもママも
お忙しい方達なので
元々あんまり
家に居ないんです



はい！

今日はみんな
出払ってるんです



とても
不思議な気分です
お兄さんが私の部屋に
いるなんて

男の人…パパだって
入れたことないんです



やめとく？

まさか！




今からここで
えっちするんですね



こんなことバレたら
パパとママ…ふふっ
大変なことに
なっちゃいますね

10
廿
…



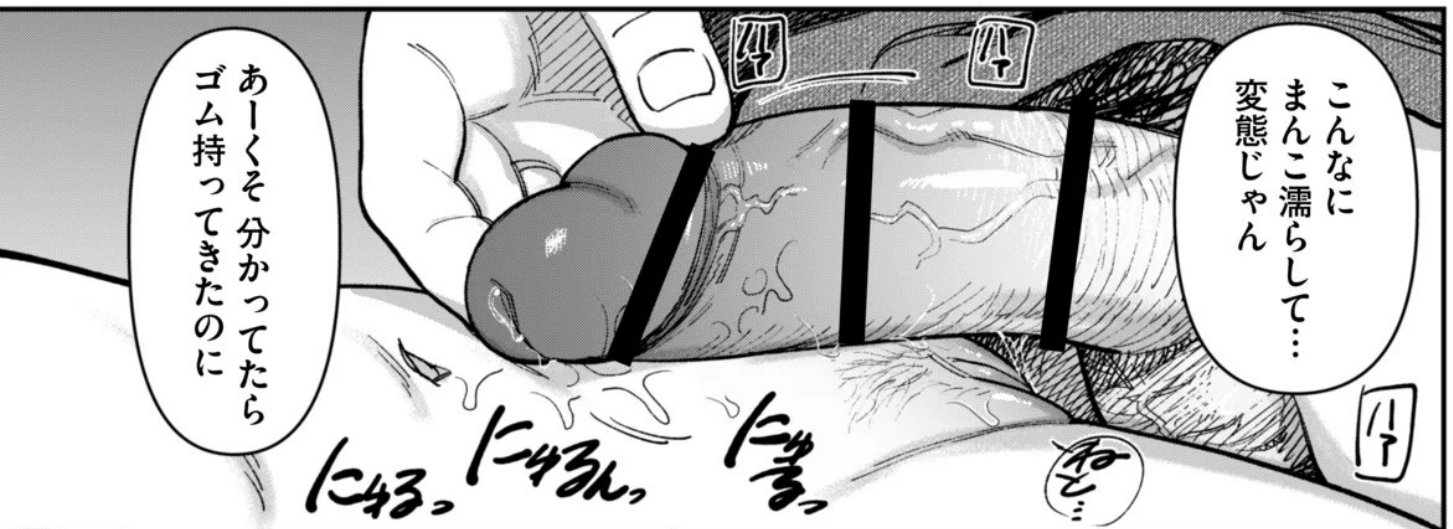
お兄さんが欲しくて
たまらないんです



凛々花ちゃん!

きゃあ♡

あゝ



こんなに
まんこ濡らして…
変態じゃん

あーくそ分かったら
ゴム持ってきたのに

にゅん、にゅん、にゅん

あゝ



そんなもの
興が冷めてしまいます





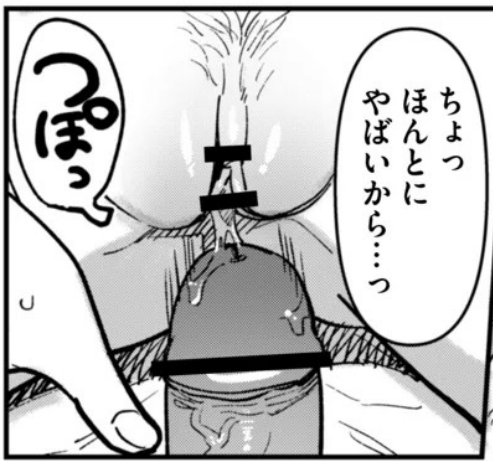
だって…
お兄さんのおちんちん
こんなに私のおまんこに
入りたがってるのに…

り凜々花ちゃん…
駄目だよ…

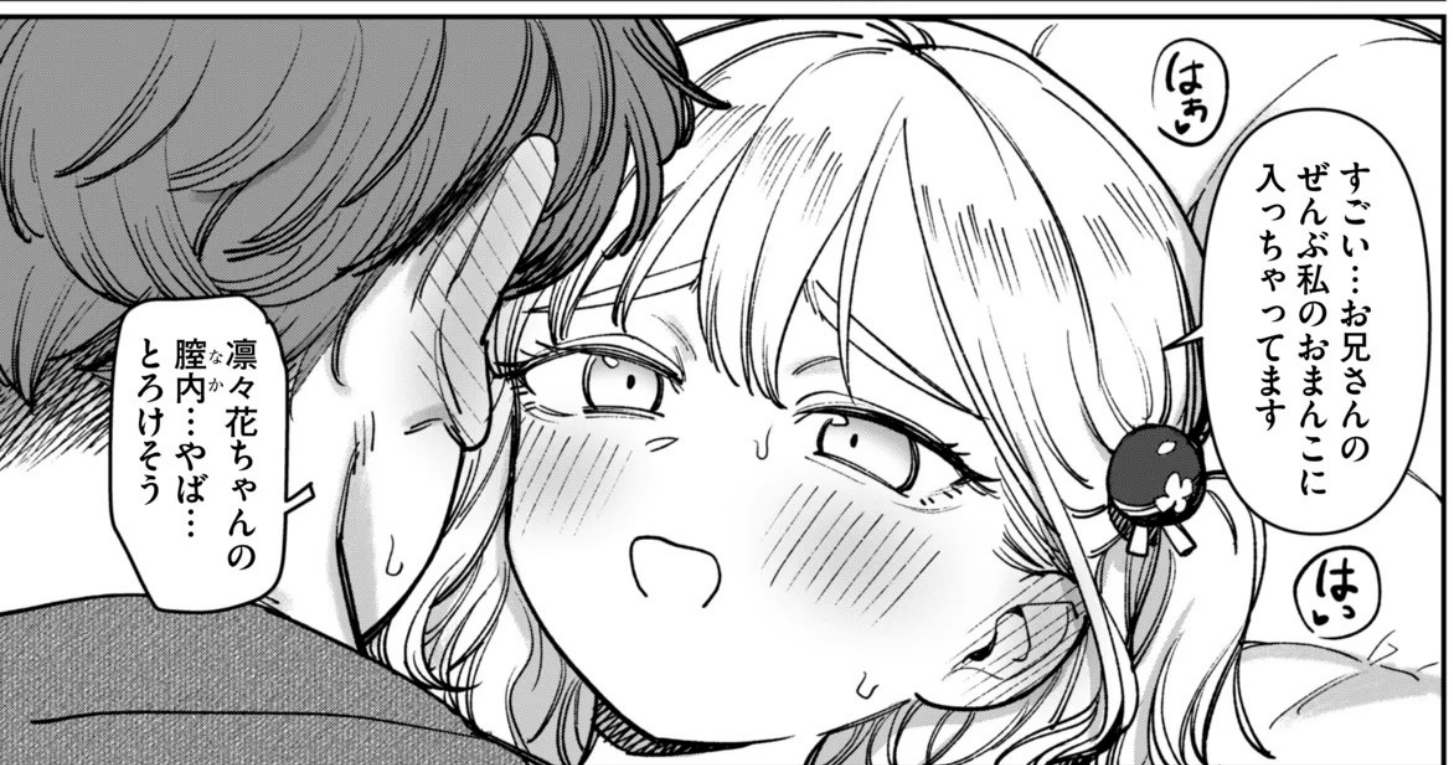
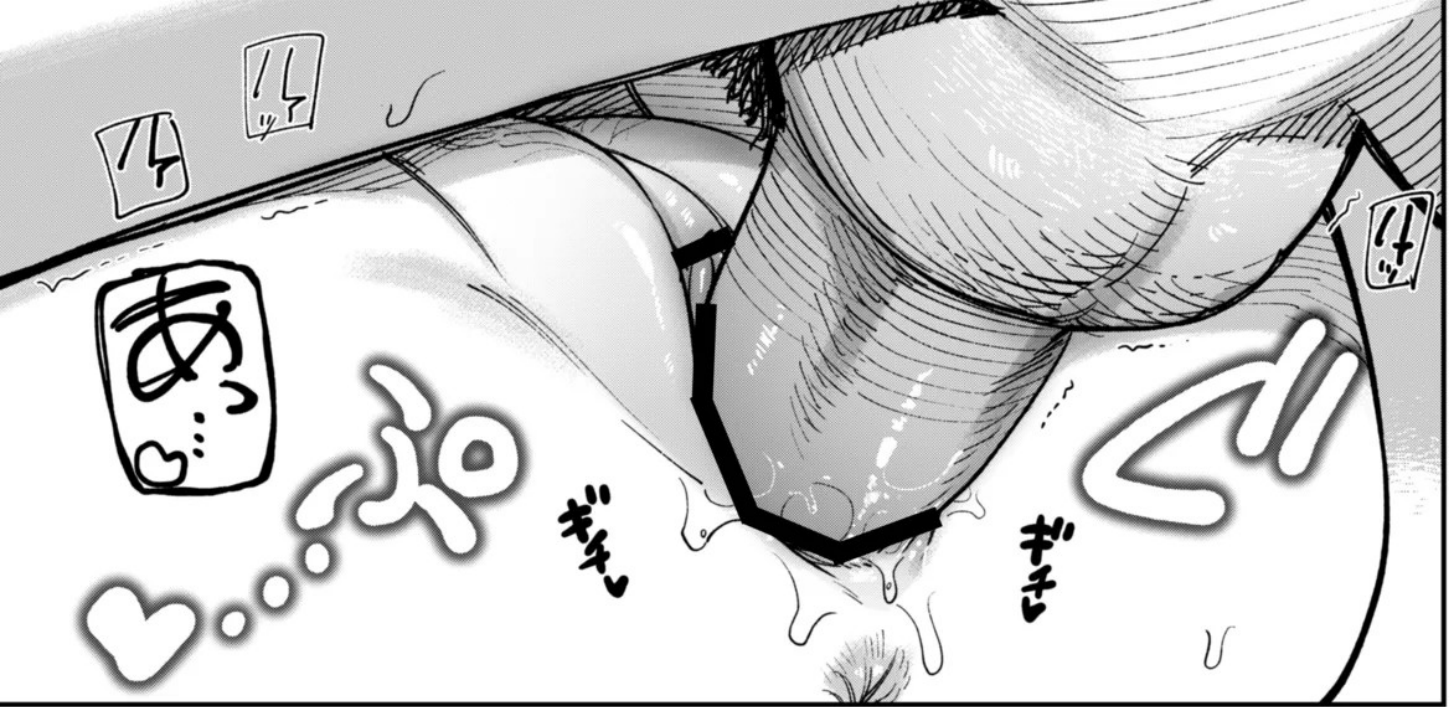
きつとすーっごく
気持ちいいですよ

ちよっ
ほんとに
やばいから…っ

嫌です♡



凜々花を
お兄さんのモノに
してください



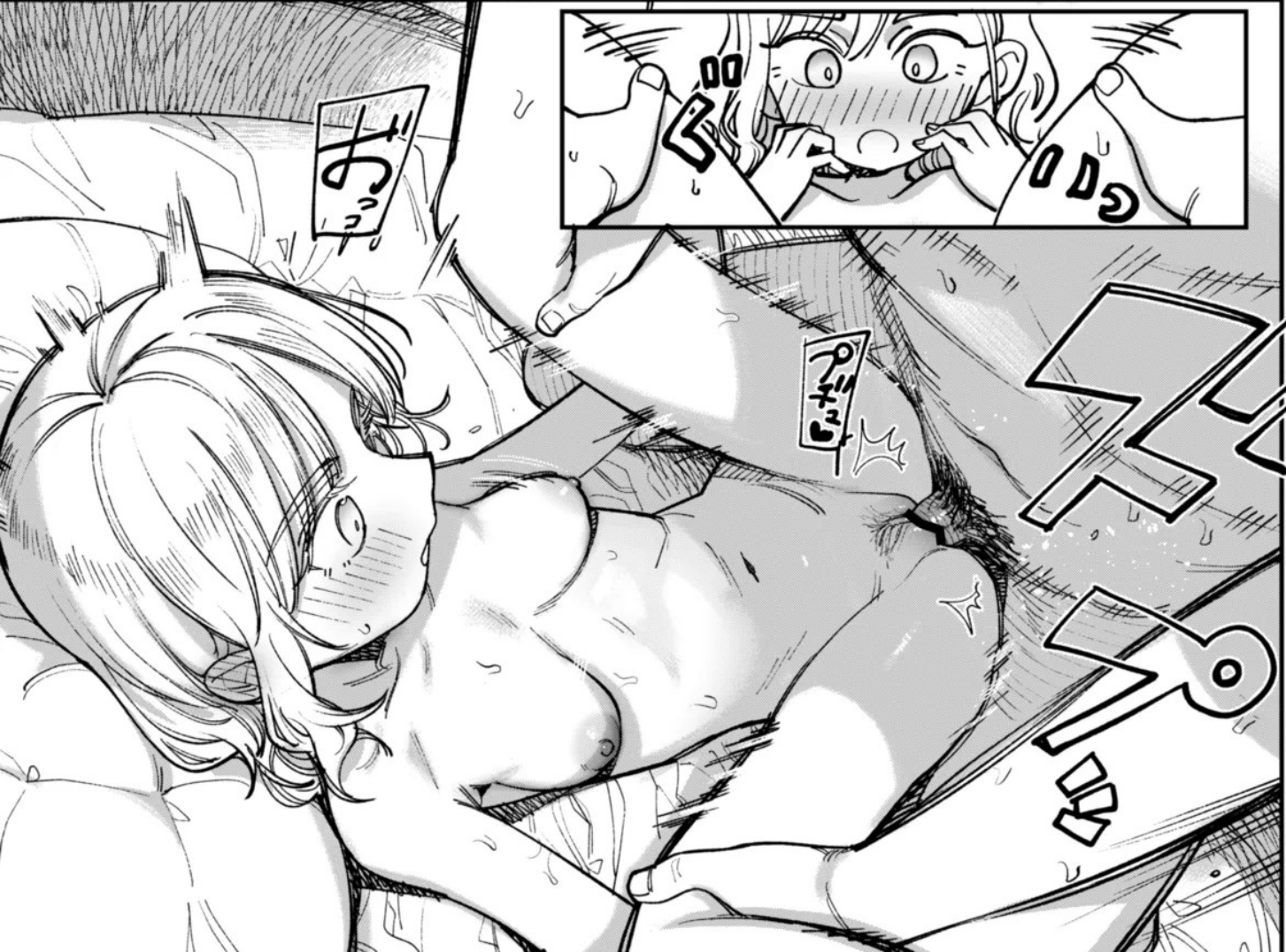


へえ…凛々花ちゃん
そんなことも言えるんだ



あはっ♡そんなに腰振って…
気持ちよさそうなお兄さん

可愛いです







そなたすけいじ…
きもち…うっ♡

あっ
おにいちゃんっ

ほろちゅ♡
ほろちゅ♡
ほろちゅ♡

ほろちゅ♡
ほろちゅ♡
ほろちゅ♡



もうっ無理…
出そっ…

凜々花…
ちゃんっ

ほろちゅ♡
ほろちゅ♡
ほろちゅ♡



このまま...
膣内に♡

お兄さんの精子
ください♡

だして...
だして
ください♡



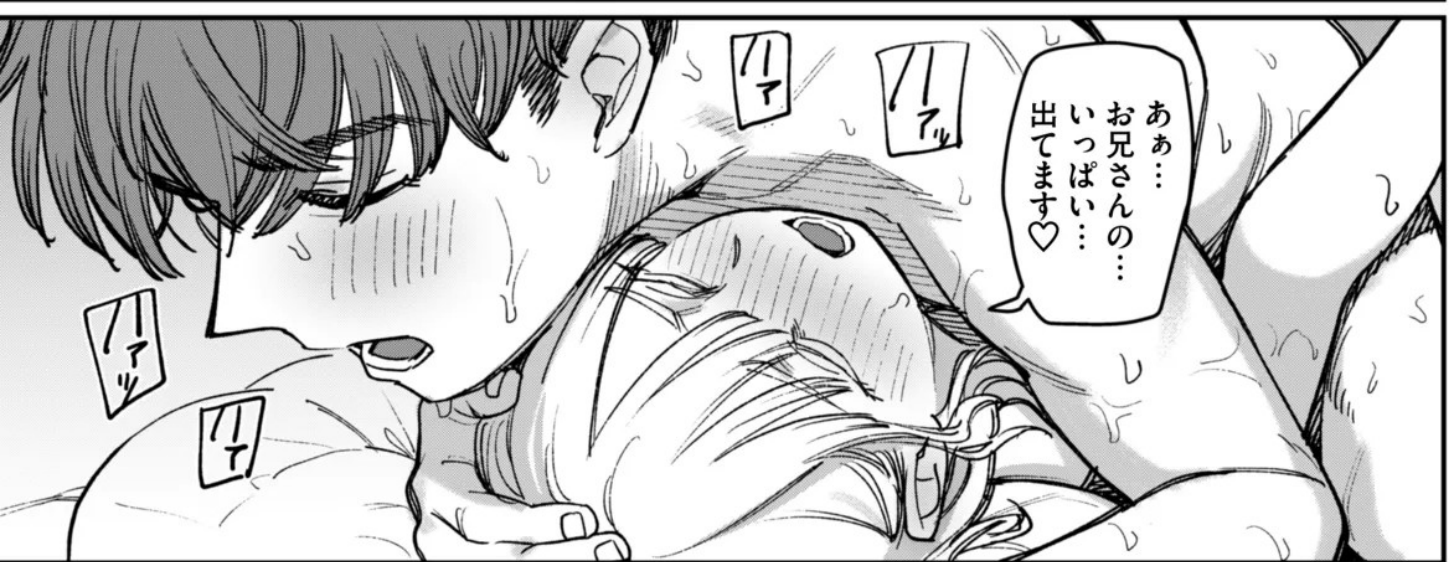
凛々花
ちゃん!!



全部っ!

射精すよ!

射精すよ!





いい匂いがする…

…凧々花ちゃん



…すん

私には実の兄がいました
その兄との絆は
パパとママの手によって
断たれました



あの方達にそのような資格が
あるはずもないのに

パパは私の部屋に
カメラを忍ばせていましたし

ママは東京の弁護士の方と
不義を重ねていました



パパもママも
すーちゃんもお兄さんも
みんな大切な人を
傷つけたがって
いるのでしょうか？

おそろしく
違います



秘密はまるで
お菓子のように
甘美で誘惑的

それは大切な人への
嘘でデコレーションされ
何重にも重ねるほど
甘味が増していく



ああっ
みんなしてズルいわ
そんなモノを
隠し持って

全部私が食べて
あげなくっちゃ！



うへへ
ジャムだけで
こんなにあるよ！



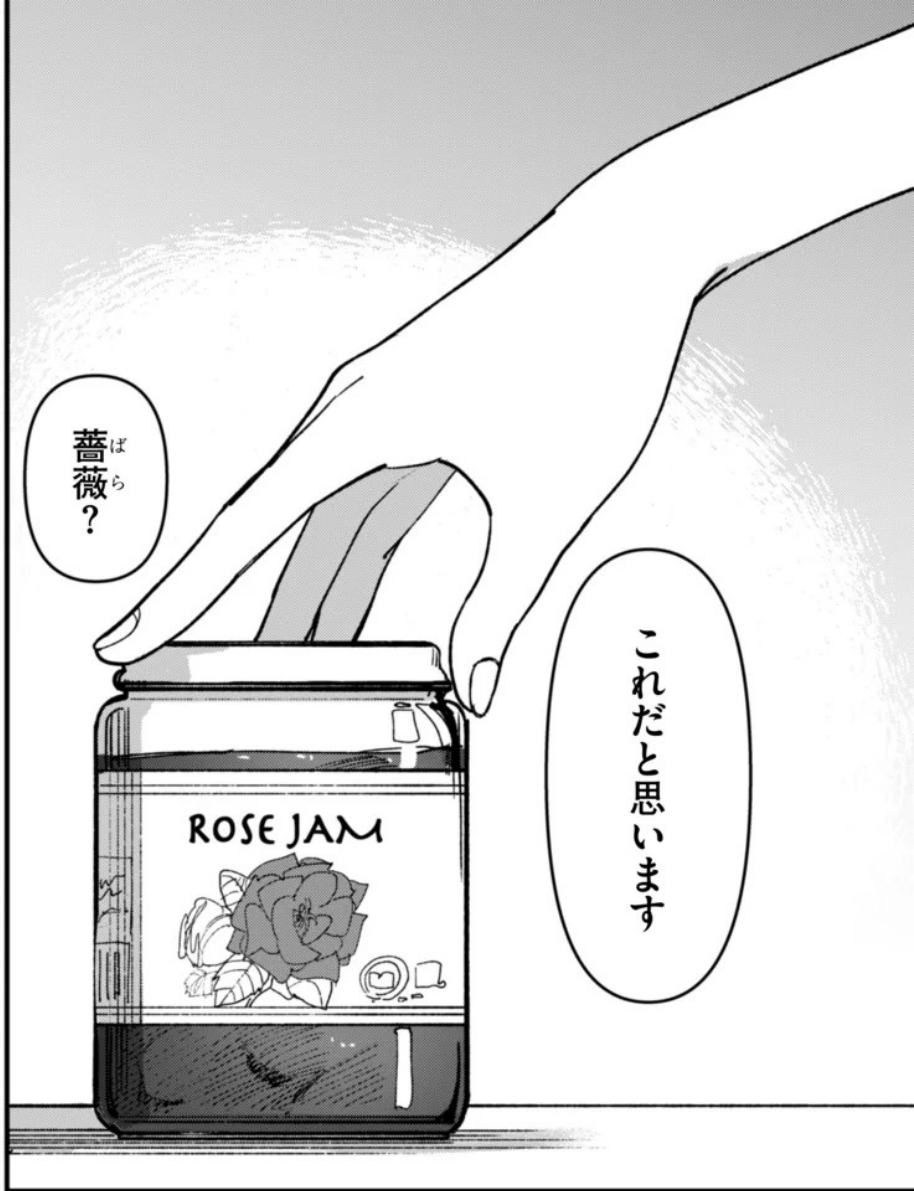
すーちゃんが
食べたクッキーに
使われたジャム…
それは多分…

あはは…それじゃあ
意味がないですから

よし！
あたしが全部舐めて
確かめる！



えくこんな
だったかなあ



ばら
薔薇？

これだ
と思います



!!



なんで
分かったの!?



これだ
——
!!

甘党で香りに
無頓着なすーちゃん
珍しく「匂い」なんて
言うから――

きっと夏前に私の家で嗅いだ
薔薇の匂いだったんでしょ

きっと味覚ではなくて
嗅覚で覚えたものだろうと
思ってたんです。

かみすー

あくスッキリした
名探偵の前じゃ
ジャムの謎も
あつけない
ものだったね
なんで
忘れてたんだろう

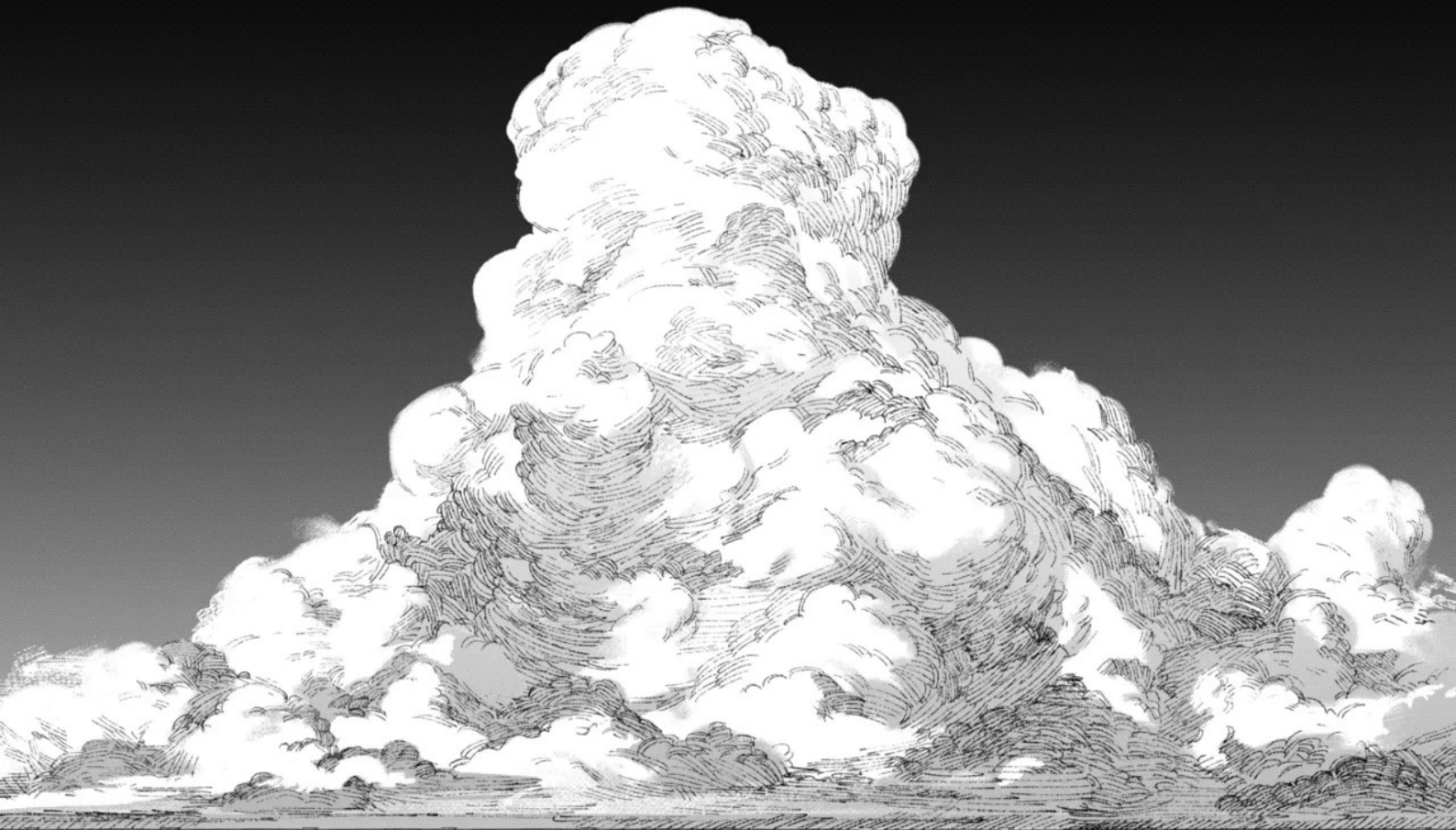
あはは 真実って
面白くないんです

美味しいでしょ？





とっても
甘いです





四章

エピローグ

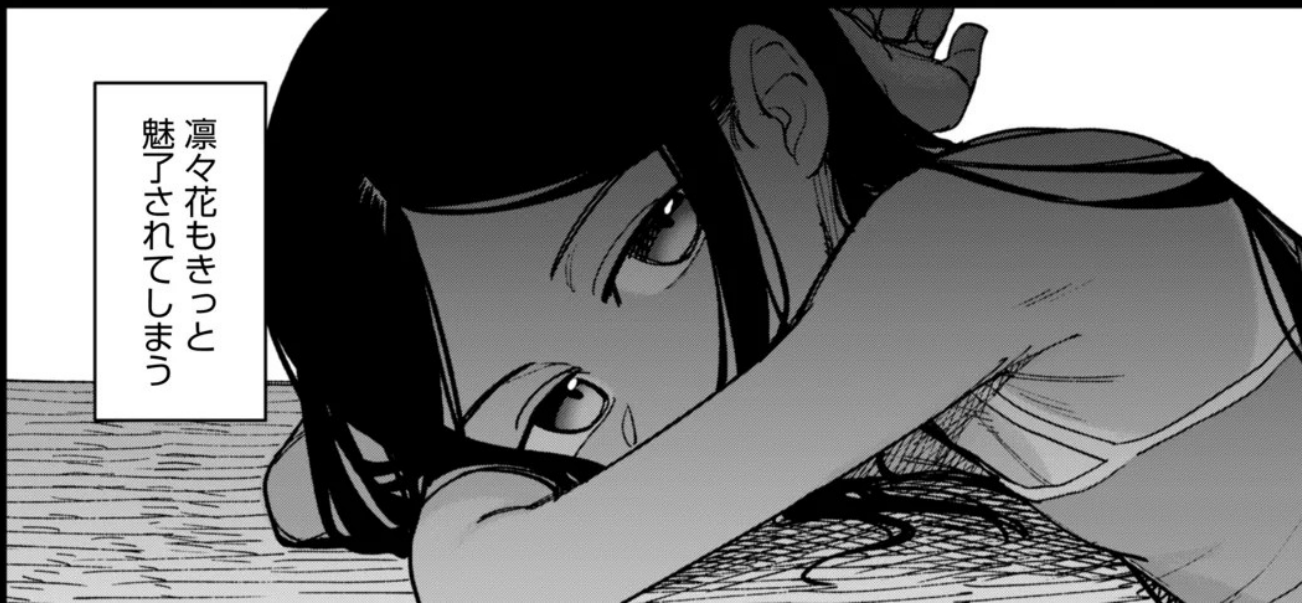


あきら
慧くんの瞳が好き
吸い込まれそうな瞳

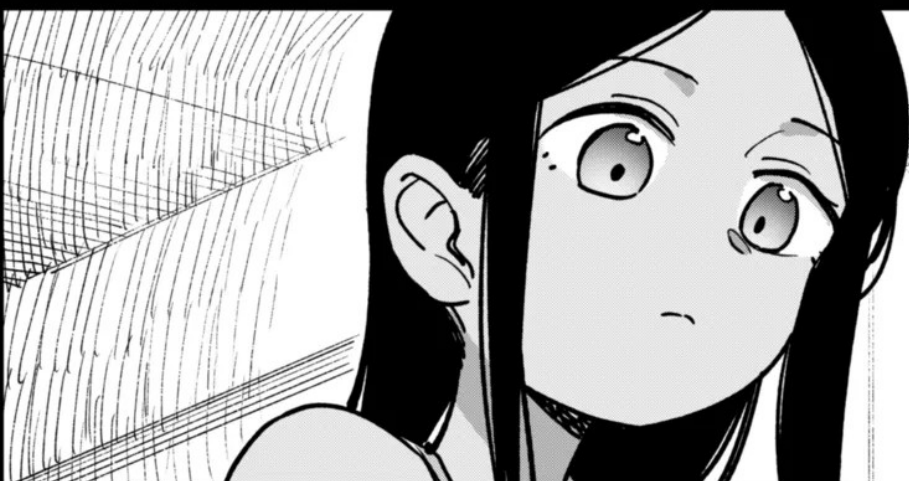
慧くんの声が好き
誰もが耳を
傾けたくなる声




凜々花と慧くんを
会わせたのは失敗だった




凜々花もきつと
魅了されてしまう





凜々花が読みかけの本を
取りに戻るのを知ってた

凜々花は読み終わるまで
いつも本を
持ち歩いていたので



でもまさか
こんなことに
なるなんて

悪かったって

機嫌なおせよ

しょうがないだろ
凜々花ちゃん
具合悪くなったんだから

嘘だ

もうあと少しだから
頑張れって

足痛い…

振り向いて

こっちを見てよ

私を見て

読書感想文で
読んだ本みたいだ

男の人が
死んじゃったお嫁さんを
取り戻しに
地獄までいくけど

神さまとの約束を
破って二度と
会えなくなるお話

ここで振り向かせたら
もう永遠に
会えなくなるのかな

……おじさん

あきら
慧くん



あたしね
慧くんのが好き



言わないように
してた言葉

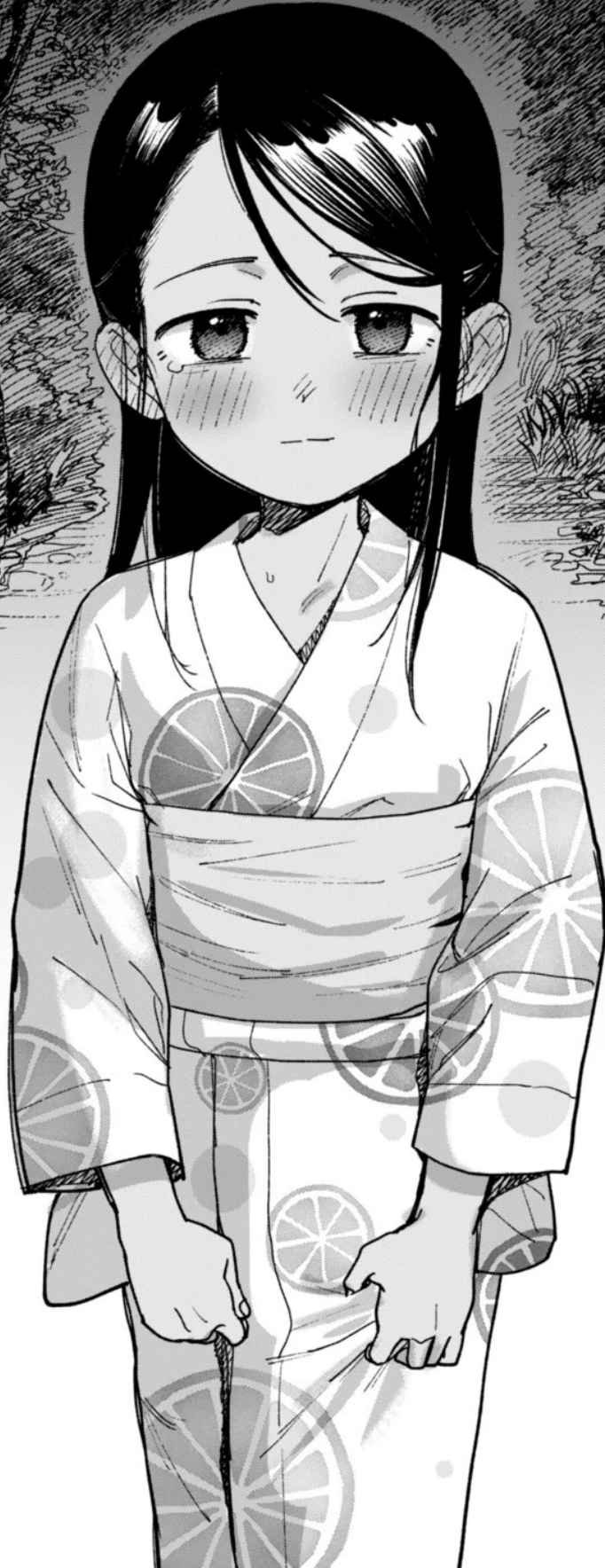
あたしたち
生まれた時から
恋人には
なれないから



言っ
ては
いけ
ない
言葉

—それでも

どうか
今だけは



あとがき

まずはこの本をお手にとって頂いて本当にありがとうございます。
Discやまから何か描いてみない？とお話を頂いて、ネームを切ってから一年以上経ってしまいました。
90ページ以上の作品は描き切るのが大変ですね…

普段は商業漫画や二次創作を中心に活動をしていたので、創作同人誌で何ができるだろうか？
みたいなどころがスタートだった気がします。

読み切り短編(20ページ前後)では扱いが難しそうなミステリー、神話要素にチャレンジしてみました。

ギリシア神話は子供の頃に読んだきりだったので改めて少し読んでみると面白かったです、乱れすぎだろ！
神話といたら西洋絵画ネタも外せないだろうってことで所々オマージュしたので探してみてください。

自分はアングルが好きです、性的嗜好が己の超絶デッサンを超えるところが。
凛々花は神話の中のなんの神様だろう？みたい謎も作中の楽しみの一つになると思います。
アフロディテにミスリード出来たら思惑通りなんですが、いかがだったでしょうか…

ミステリーは門外漢だったので下手に謎解きは入れずに人間模様で終始しました。
凛々花の読んでる本やセリフに表れてます、おおよそ著者の所感です。ミステリー好きの方はごめんなさい！

小賢しいことを並べましたがシンプルにエロ漫画として楽しんでもらえてたら何より嬉しいです。
本作の続編を描く予定はない(誰も幸せになりそうもないので)ですが、
削ったエロシーンも多かったので何かしら形にするかもしれません。
それでなくともまだまだ色々描いてみたい作品はあるので、ご期待ください！

それではまた会える日まで！